



2009年度通期及び第4四半期 決算説明会

2 0 1 0 年 2 月 1 2 日
楽 天 株 式 会 社

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることを御承知おき下さい。

1 2009年度 業績と戦略の振り返り

2 主要事業別の状況

1. 楽天市場事業
2. トラベル事業
3. クレジットカード事業
4. 銀行事業
5. 証券事業
6. プロスポーツ事業
7. 電話事業

3 財務の状況

参考資料

1 2009年度 業績と戦略の振り返り

1. 国内ネットサービスを中心に増収・増益を達成、
2009年度は過去最高益を更新
 営業利益 566億円 +20.1%(前年同期比)
 経常利益 548億円 +23.3%(同上)
 当期利益 535億円(黒転)
2. 海外展開を推進、EC事業で中国進出に向けて
 Baidu(百度)と合併会社設立について合意
3. 日本の新興企業から、アジアのネット企業として
 新たなステージへ

2009年度通期 連結業績 まとめ



(単位:十億円)

	08/12期 (08/1-12月)		09/12期 (09/1-12月)			
	連結	クレジット カード事業*1 を除く	連結	前年 同期比	クレジット カード事業を 除く	前年 同期比
売上高	249.8	193.0	298.2	+19.4%	238.3	+23.4%
営業利益	47.1	35.7	56.6	+20.1%	53.3	+49.3%
経常利益	44.5	33.0	54.8	+23.3%	51.4	+55.4%
EBITDA*2	66.7	49.5	78.4	+17.5%	71.1	+43.6%
当期純損益	-54.9		53.5	-		

*1:08/12期の「クレジットカード事業除く」は、楽天KC(株)の業績及び同社グループに係るのれん償却費用を控除した額

*2:EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費+のれん償却費-債権流動化影響額

2009年度4Q 連結業績 まとめ



(単位:十億円)

	08/4Q (08/10-12月)		09/4Q (09/10-12月)			
	連結	クレジット カード事業*1 を除く	連結	前年 同期比	クレジット カード事業 を除く	前年 同期比
売上高	65.6	51.0	81.2	+23.6%	65.4	+28.1%
営業利益	16.3	12.7	18.0	+10.4%	17.0	+33.6%
経常利益	15.4	11.8	17.5	+13.3%	16.5	+39.2%
EBITDA*2	21.3	16.3	23.0	+8.1%	21.4	+30.8%
四半期純損益	-68.4		6.1	-		

*1:08/4Qの「クレジットカード事業除く」は、楽天KC(株)の業績及び同社グループに係るのれん償却費用を控除した額

*2:EBITDA=経常利益+支払利息+減価償却費+のれん償却費-債権流動化影響額

2009年度 連結業績 事業別



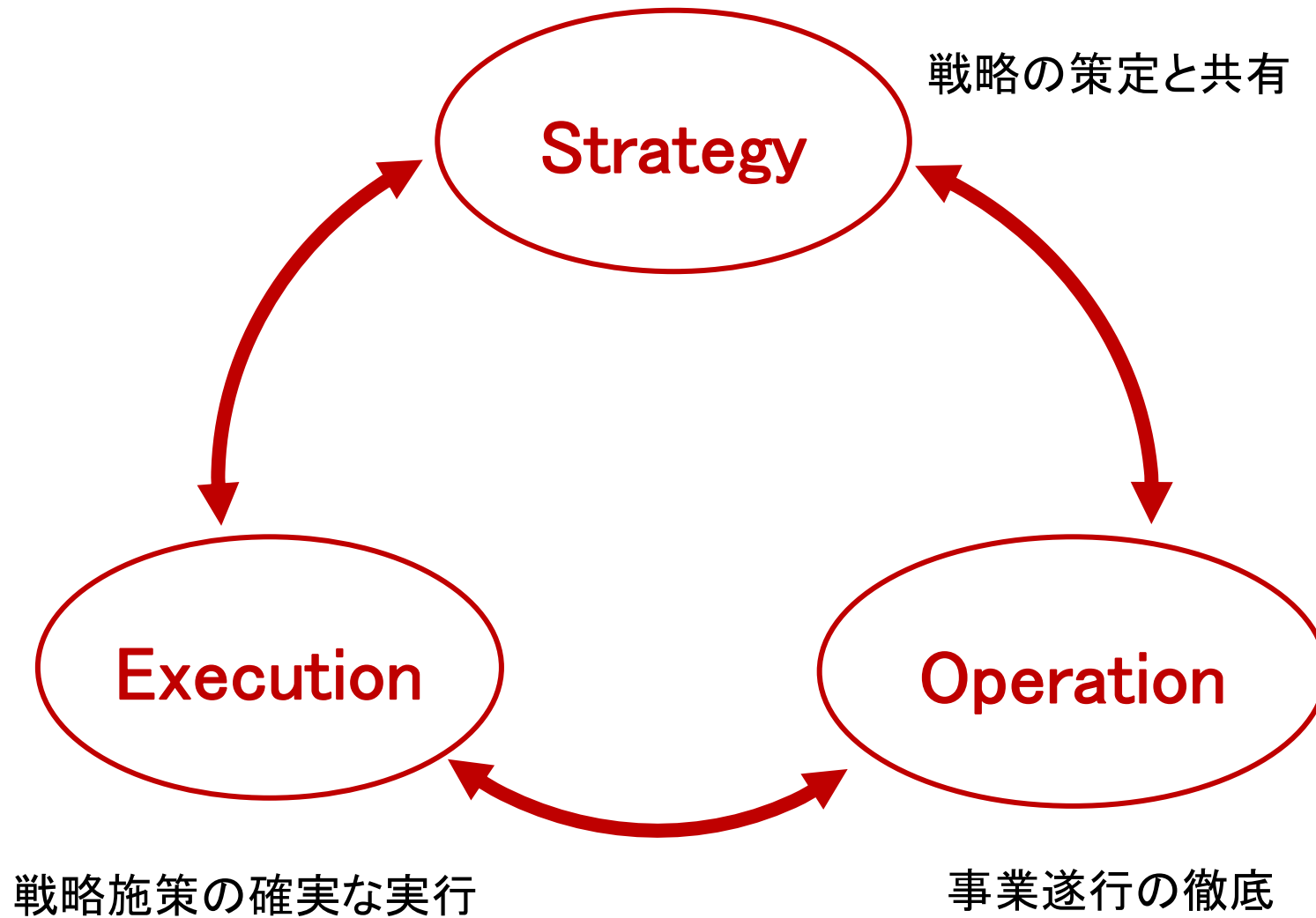
(単位:十億円)

分類	事業セグメント	2008年度通期			2009年度通期				
		売上高	営業 損益	営業 利益率	売上高	前年 同期比	営業 利益	前年 同期比	営業 利益率
ネット サービス	・EC事業 ・トラベル事業 ・ポータル・メディア事業*1	124.2	33.3	26.8%	160.8	+29.5 %	46.1	+38.6%	28.7%
ネット 金融	・クレジットカード事業*2 ・銀行事業*2,3 ・証券事業	91.5	14.5	15.9%	115.0	+25.6%	10.1	-30.0%	8.9%
その他	・通信事業 ・プロスポーツ事業	42.6	-0.3	-0.9%	35.2	-17.3%	-0.2	-	-0.7%
全社・内部消去		-8.5	-0.3	-	-12.8	-	0.5	-	-
連結		249.8	47.1	18.9%	298.2	+19.4%	56.6	+20.1%	19.0%

* 1:08/4Qよりオーネット連結開始、09/2Qよりショウタイム連結開始

* 2: クレジットペイメント事業は09/1Qよりクレジットカード事業と銀行事業に分割

* 3:09/1Qよりイーバンク銀行連結開始



Strategy

- 2010年は「真の世界企業」を目指し海外へと軸足を移す
- 国内Webブランド指数1位獲得
- 中国EC事業の進出に向けてBaidu(百度)と合併会社設立合意

- 真の世界企業を目指し、多国展開の推進が可能な組織力の構築へ
- Edy, 銀行等、決済サービスの新たな展開を進め、国内の「楽天経済圏」をより強固に
- パーソナライズ、ソーシャル・メディア・マーケティング等、ネット企業のみが可能なサービスを提供
- 世界レベルでの技術開発体制の強化

- 国内Webブランド指数にて1位を獲得
- 楽天経済圏の求心力向上を実現

■Webブランド指数(日経BPコンサルティング調査)

順位	サイト名	スコア			
1位	楽天市場	126.0	9位	Infoseek	86.4
2位	Yahoo! Japan	122.0	12位	楽天トラベル	81.9
3位	Google	98.6	13位	楽天オークション	81.7
4位	Amazon.co.jp	96.6	15位	楽天ブックス	78.8
5位	Yahoo! ニュース	94.2	20位	楽天KC	74.5

* : 日経BPコンサルティング調べ——「Webブランド調査2010—I」(2009年10月実施)

中国における BtoC EC事業進出に向けて 中国検索最大手Baidu(百度)と合併会社設立に合意

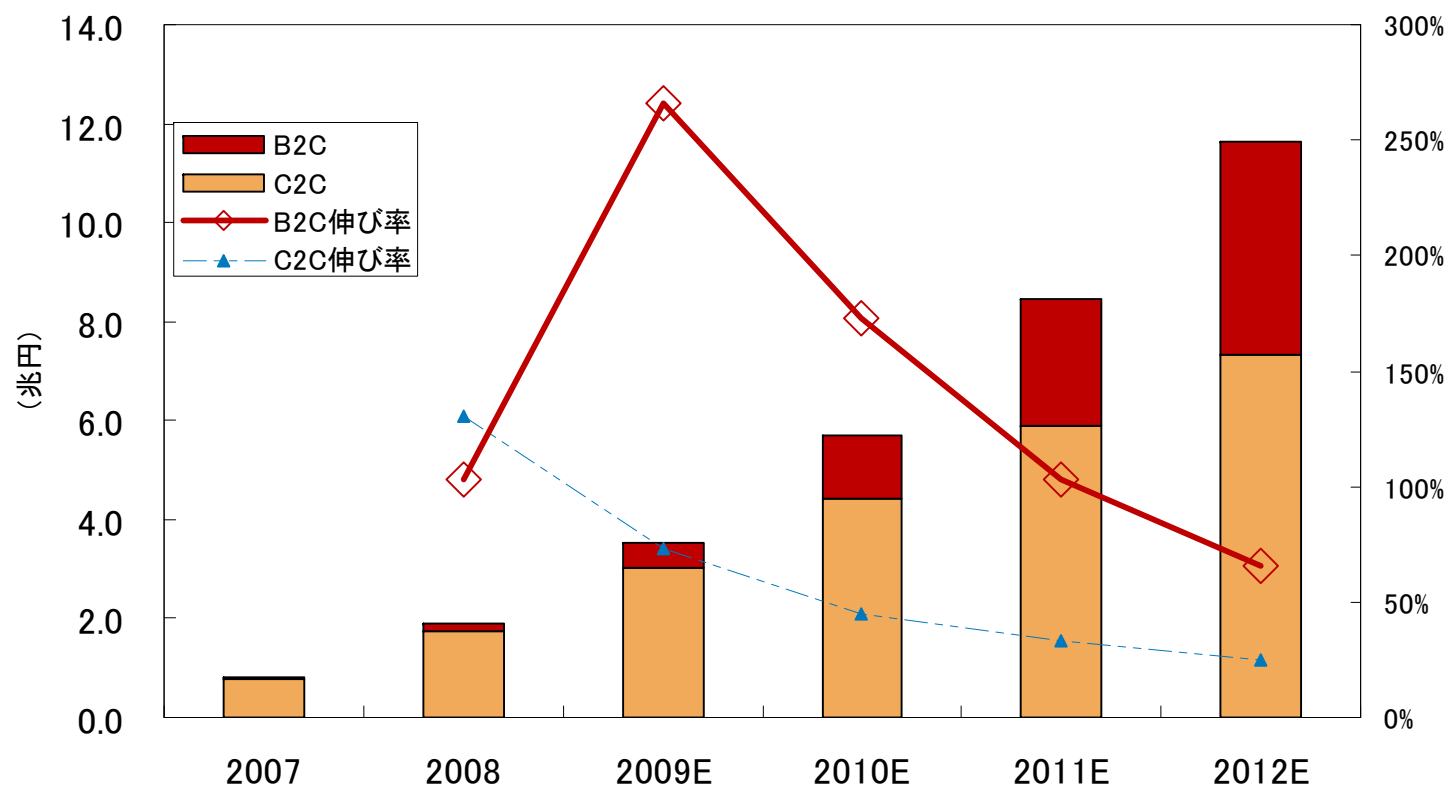


- 中国検索サイト最大手『Baidu.com』を運営するBaidu, Inc.の集客力に加え、日本最大のECサイト『楽天市場』のプラットフォーム技術、運営ノウハウを集結
- 中国国内でのNo.1 BtoC インターネットショッピングモールを目指す
- 将来は、日本の楽天市場との提携も検討

合併事業の概要

- 事業内容: 中国におけるBtoBtoCインターネット・ショッピングモールの運営
- 出資予定金額: 3年間の総額約43億円(1人民元=13.11円で換算)
- 出資割合: 楽天 51%、Baidu, Inc. 49%
- サービス開始: 2010年後半(予定)
- 代表者: 楽天より派遣(予定)

■ 中国では、BtoC EC市場が、今後大きく成長の見通し

中国 ネットショッピング市場規模
B2C/C2C EC市場伸び率

※: ネットショッピング市場規模はB2CとC2C取引額の合計

※: 1人民元=14円で換算

※: ソース: "China Online Shopping Quarterly Research Report", iResearch

- 日本だけでなく海外の事業者・消費者をEmpowerment
- 最終的にはボーダレス・ショッピングモールを目指す

海外 インターネット・ ショッピング モール運営	各国の 現地店舗から 現地消費者へ	■台湾：楽天市場台湾の事業が軌道に ■タイ：TARAD.comでの楽天流のマネジメントを開始 ■中国：Baiduとの合併事業を2010年後半立上げ予定 その他の国でも展開を検討中
クロスボーダー ・ショッピング	日本の店舗から 海外消費者へ	■楽天海外販売 (Rakuten International Shipping Service) ➢ 楽天店舗から海外の消費者に日本の商品を配送 ➢ 25カ国語自動翻訳機能付 ➢ 欧米在住日本人、アジアの現地消費者に人気
	海外店舗から 日本の消費者へ	■米子会社LinkShare Corpを通じた個人輸入事業 ➢ Drugstore.com、FragranceNet.com、及びSaraSaraの商品が日本で購入可能なプラットフォームを提供



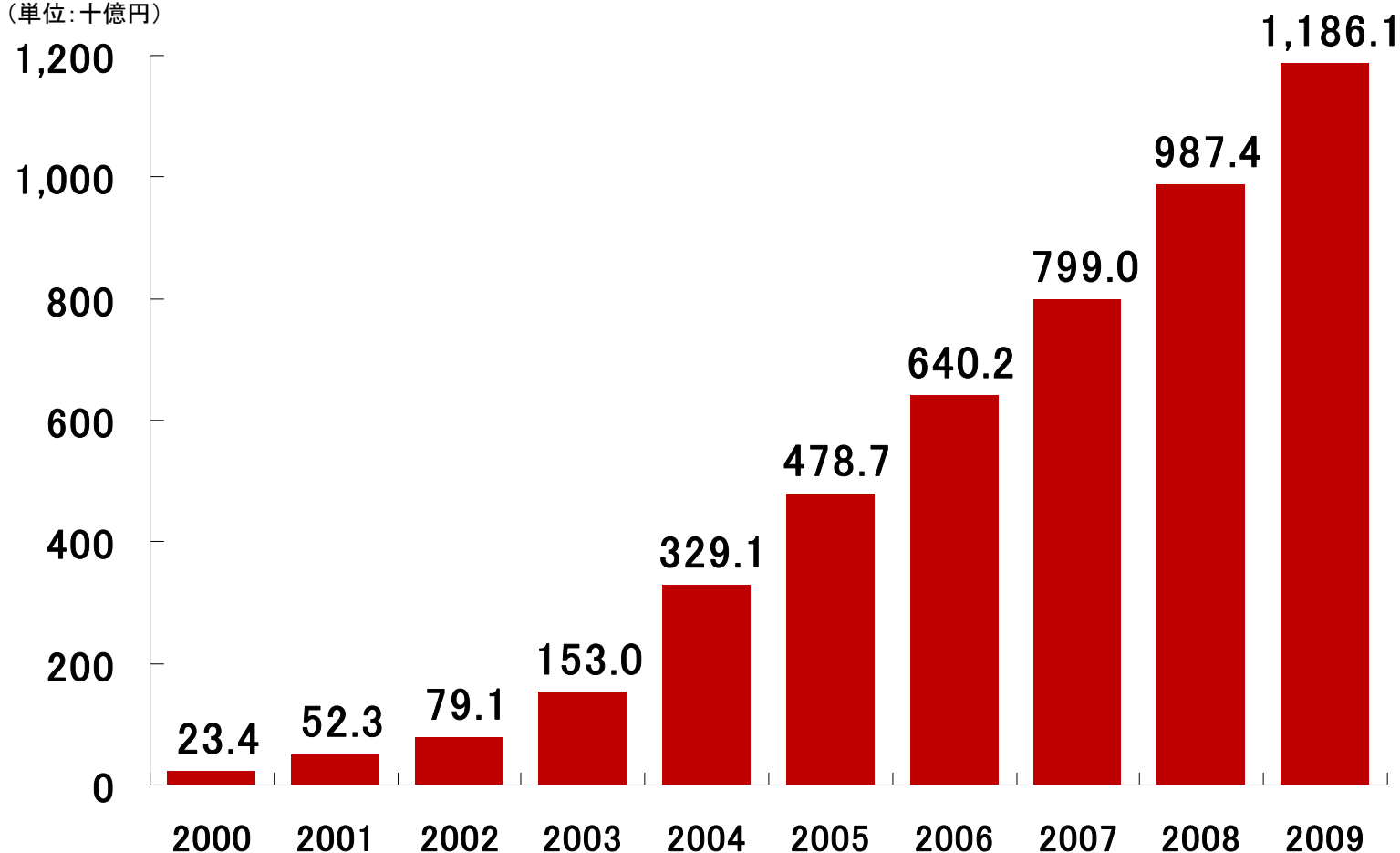
- 連結子会社化が完了(2010年1月)
- 議決権比率:52.8%
- 代表取締役社長:三木谷浩史
- 楽天からマネジメント3名を派遣、週次ミーティングを開始
- 楽天グループとのシナジーの実現に向けた活動を開始
- 会計上の連結は2010年1月1日より

Execution

- 国内グループ流通総額1兆円突破
- 会員のクロスユース比率40%超

■国内流通総額(国内EC＋トラベル)も遂に1兆1,000億円を突破

(単位: 十億円)



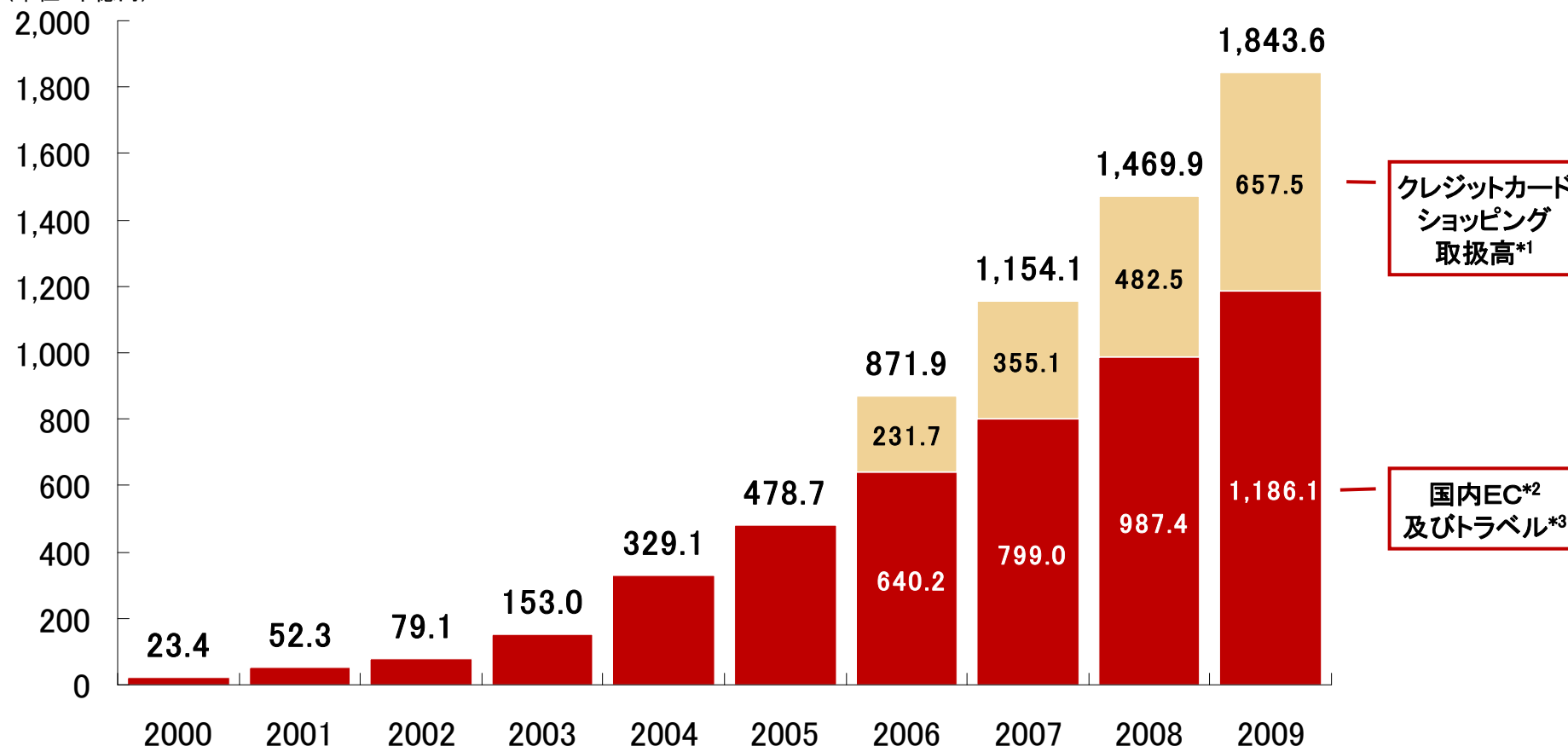
* : 国内EC流通総額＝モール(通常購入・共同購入)、モバイル、オークション(旧フリマ含む)、ブックス、GORA、ビジネス、ダウンロード、チケット、ネットスーパー、チェックアウト、楽天競馬

* : トラベル予約流通総額＝予約受付時に対する流通総額(キャンセル前、税別料金に換算)

＝国内／海外施設予約、海外航空券、楽天バスサービス、国内／海外ダイナミックパッケージ、レンタカー

■カードショッピング取扱高を含むと1兆8,000億円規模に

(単位:十億円)



*1:クレジットカード・ショッピング取扱高: 楽天KC発行のクレジットカードのショッピング取扱高、楽天グループのサービス利用を含む

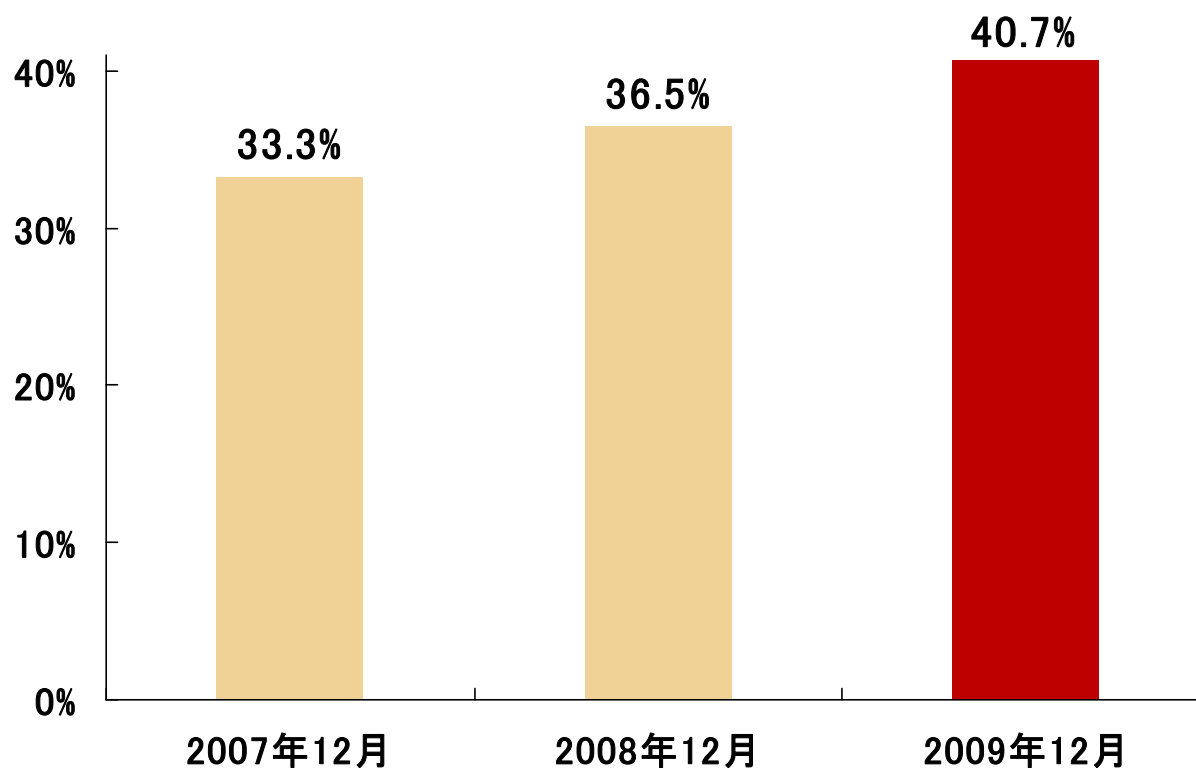
*2:国内EC流通総額=モール(通常購入・共同購入)、モバイル、オークション(旧フリマ含む)、ブックス、GORA、ビジネス、ダウンロード、チケット、ネットスーパー、チェックアウト、楽天競馬

*3:トラベル予約流通総額=予約受付時に対する流通総額(キャンセル前、税別料金に換算)

=国内/海外施設予約、海外航空券、楽天バスサービス、国内/海外ダイナミックパッケージ、レンタカー

■ パーソナライゼーション、ポイントプログラム戦略が奏功

楽天会員の2サービス以上の利用率



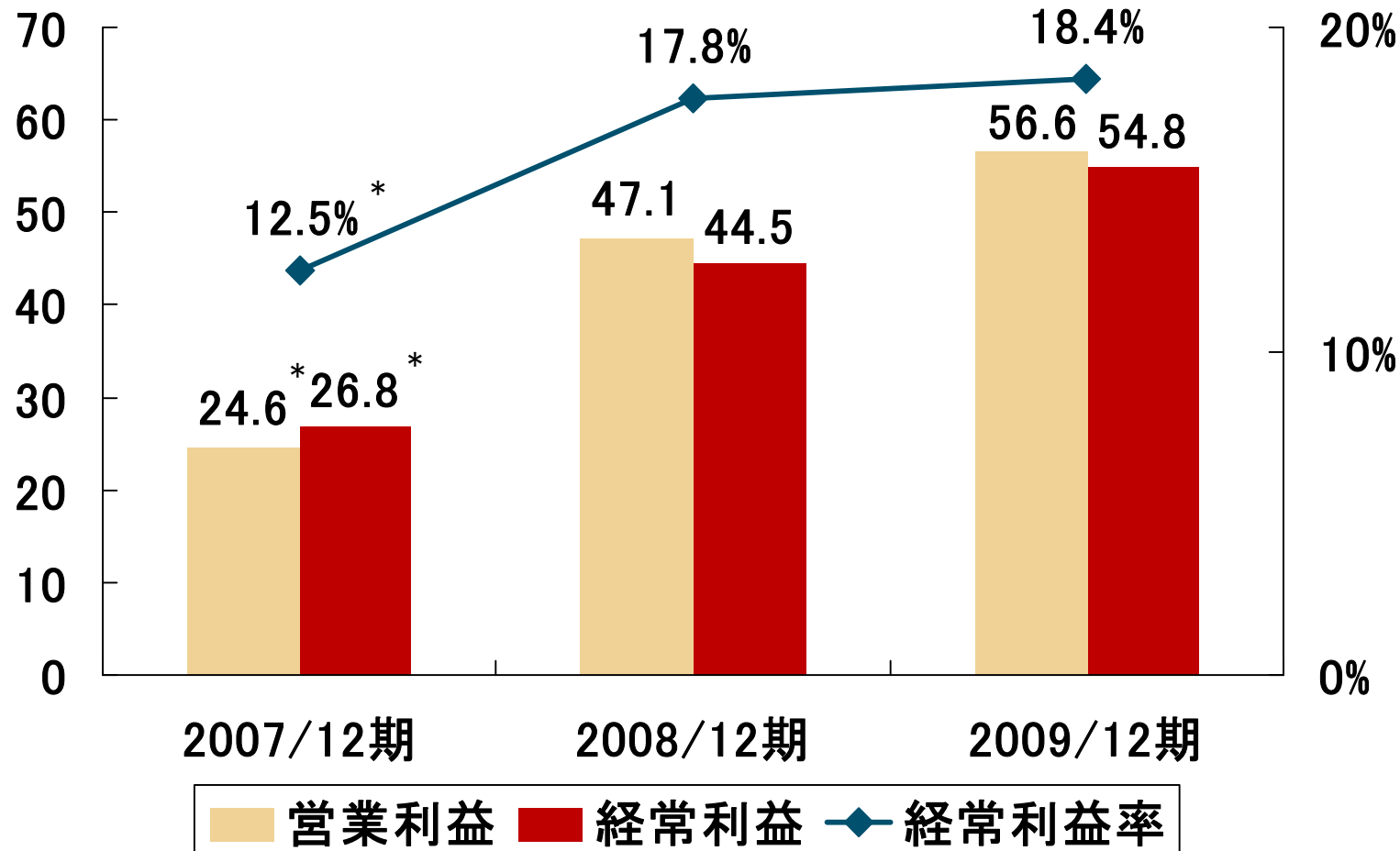
*当該月間の楽天スーパーポイント獲得可能サービスの利用者が、過去12ヶ月間に他サービスを利用した場合をカウント

*楽天スーパーポイントが獲得可能なサービスの利用に限る(証券等を含まない)

Operation

- 営業利益、経常利益、純利益とも過去最高を更新

利益額（十億円）



*: 2007年12月期は楽天KCIにおける利息返還請求に伴う損失引当金の見積り精緻化発生した一時費用(245.2億円)を足し戻した金額

2 主要事業別の状況

1. 楽天市場事業
2. トラベル事業
3. クレジットカード事業
4. 銀行事業
5. 証券事業
6. プロスポーツ事業
7. 電話事業

2 -1 楽天市場事業

■流通総額・業績とも
高成長を継続



- クリスマス、お歳暮、タイムセール等の販促活動やポイント施策が奏功、流通総額+20.0%(前年同期比)と順調
- 売上高成長+18.9%(同上)

■出店数の成長加速、
31,000店を突破



- 地方からの出店増が継続、スーパーロングテール化が進む
- 店舗と楽天とのジャンル戦略共有を推進

■ユーザー向け機能の
更なる充実



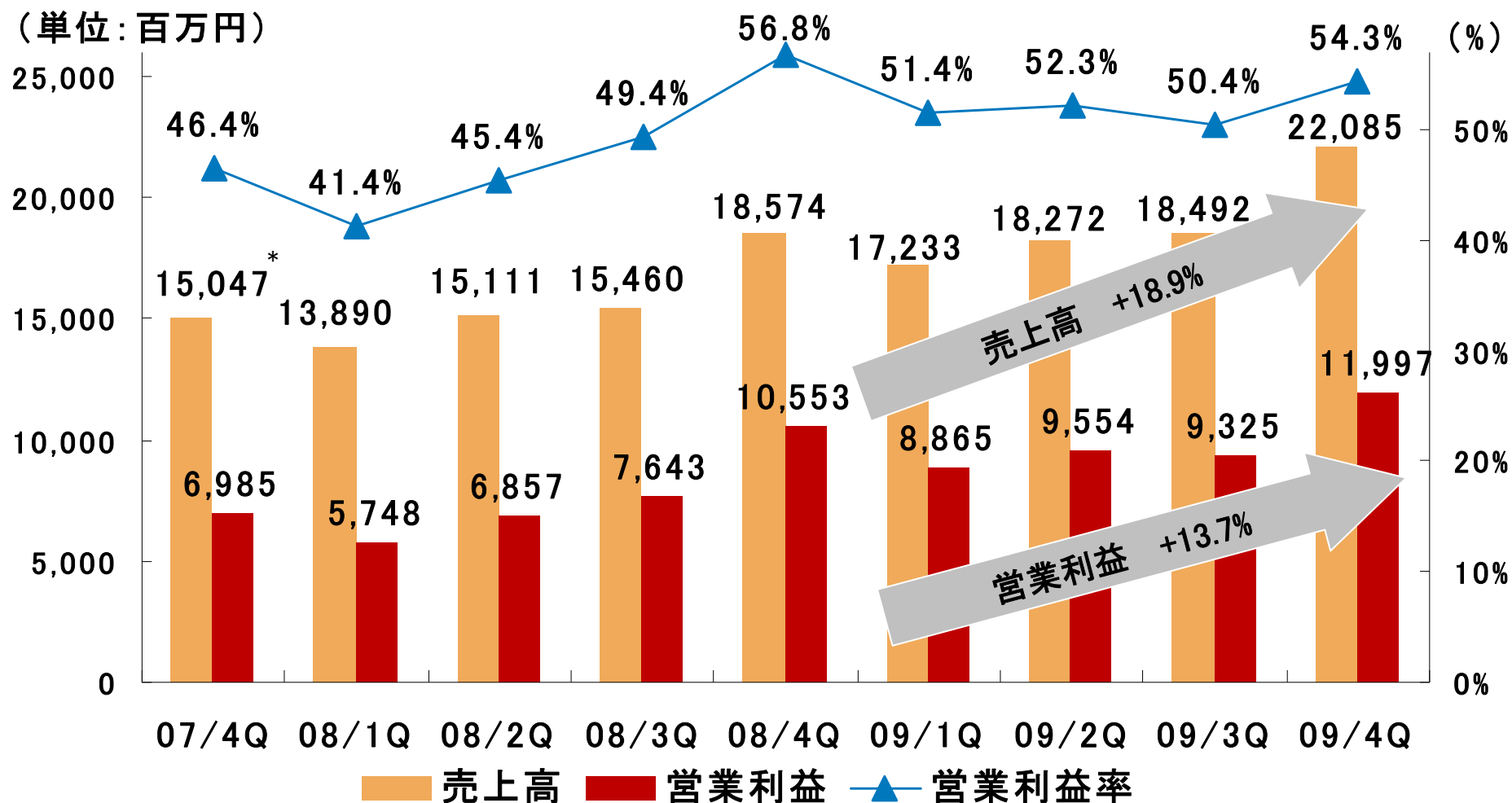
- パーソナライズの適用範囲の拡大
- レビュー機能の強化
- クーポン機能のリリース

楽天市場事業 業績の推移



■売上高成長率は+18.9%(前年同期比)、営業利益は+13.7%(同左)

■通期の営業利益率は48.9%(2008年)から52.2%(2010年)に上昇

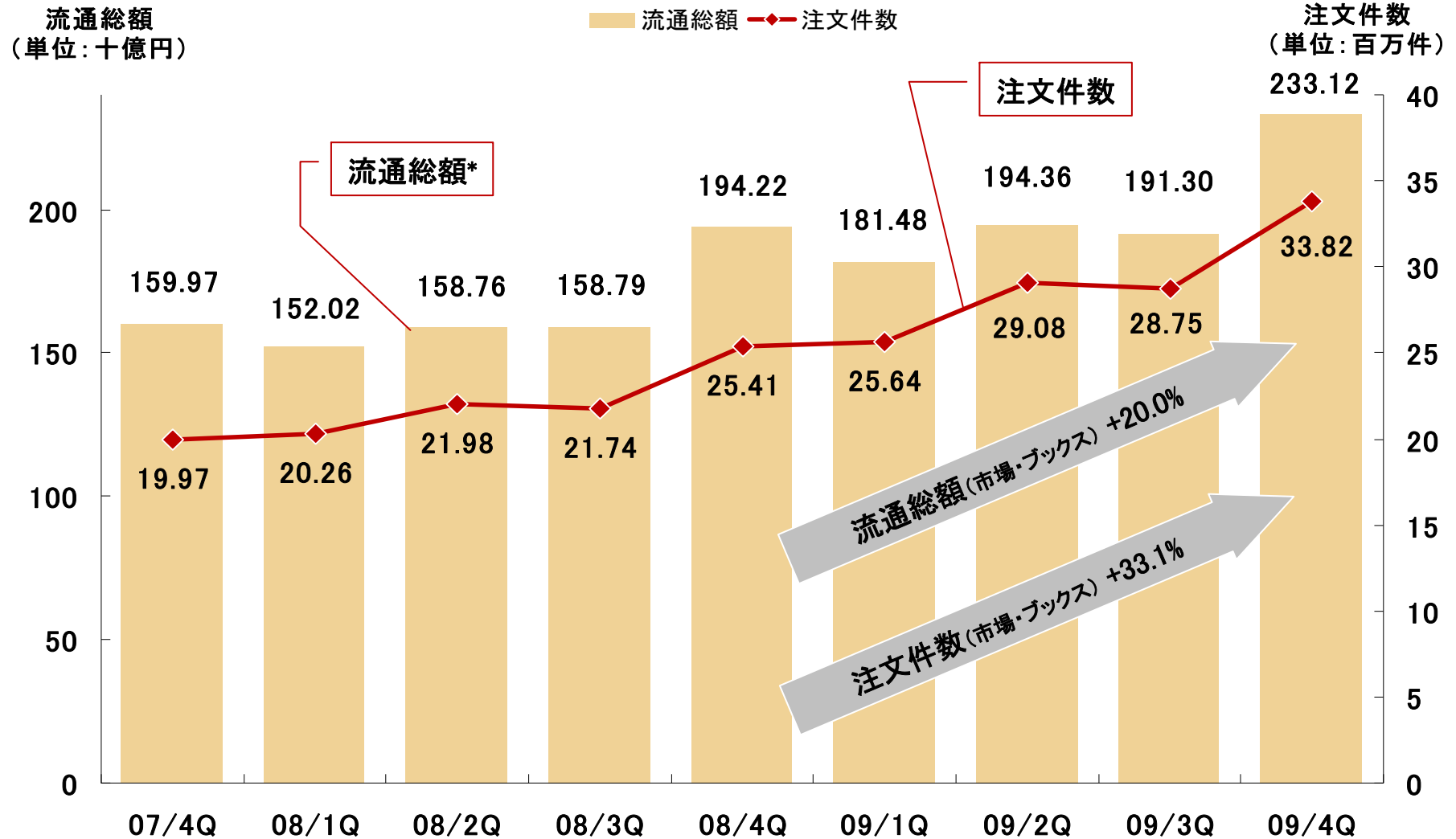


*: 2007年度については店舗広告のグループ内取引の売上高の計上方法を変更する前(従来基準)の売上高を表示

流通総額の推移(楽天市場・楽天ブックス)



■市場・ブックスの流通総額は前年同期比+20.0%と順調に成長



*: 流通総額=モール(通常購入・共同購入)・モバイル(通常購入・共同購入)・ブックス

■ユニーク購入者数は前年同期比+21.4%と順調に成長持続

	2007/4Q	2008/1Q	2008/2Q	2008/3Q	2008/4Q	2009/1Q	2009/2Q	2009/3Q	2009/4Q
ユニーク 購入者数*2	581万人	595万人	633万人	637万人	703万人	717万人	772万人	775万人	854万人
注文件数	1,869万件	1,885万件	2,078万件	2,065万件	2,419万件	2,405万件	2,711万件	2,643万件	3,102万件
平均購入回数	3.22回	3.17回	3.28回	3.24回	3.44回	3.35回	3.51回	3.41回	3.63回
一回当たりの 購入金額	8,298円	7,804円	7,443円	7,509円	7,844円	7,346円	6,970円	6,999円	7,268円
一人当たりの 購入総額*3	26,687円	24,726円	24,413円	24,327円	26,969円	24,637円	24,449円	23,868円	26,390円

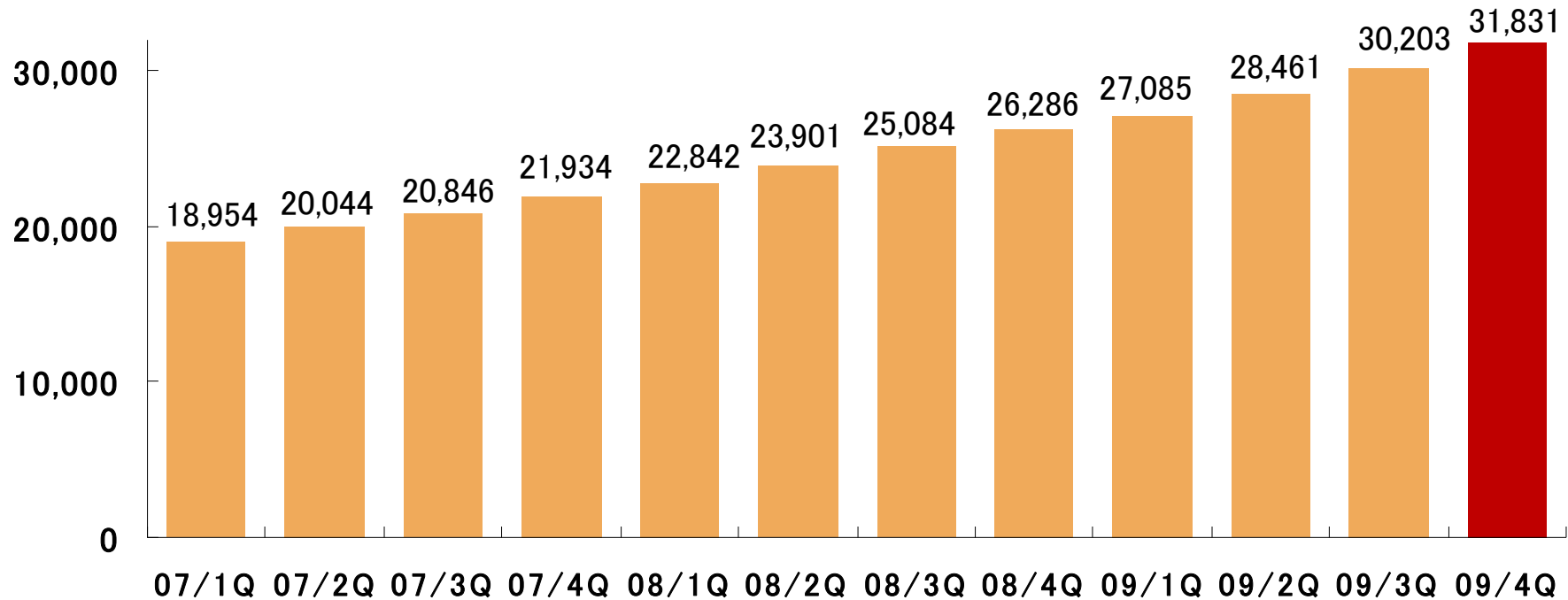
*1: メールアドレスベース、モール・モバイルでの通常購入及び共同購入

*2: ユニーク購入者数: 当該四半期の間に1回以上楽天市場で商品を購入したユーザーをメールアドレスベースで名寄せした数

*3: 一人当たりの購入総額=当該四半期楽天市場流通総額÷ユニーク購入者数

出店店舗数の推移

■ 出店店舗数(契約済)が遂に3万1,000店を突破
出店店舗数:店



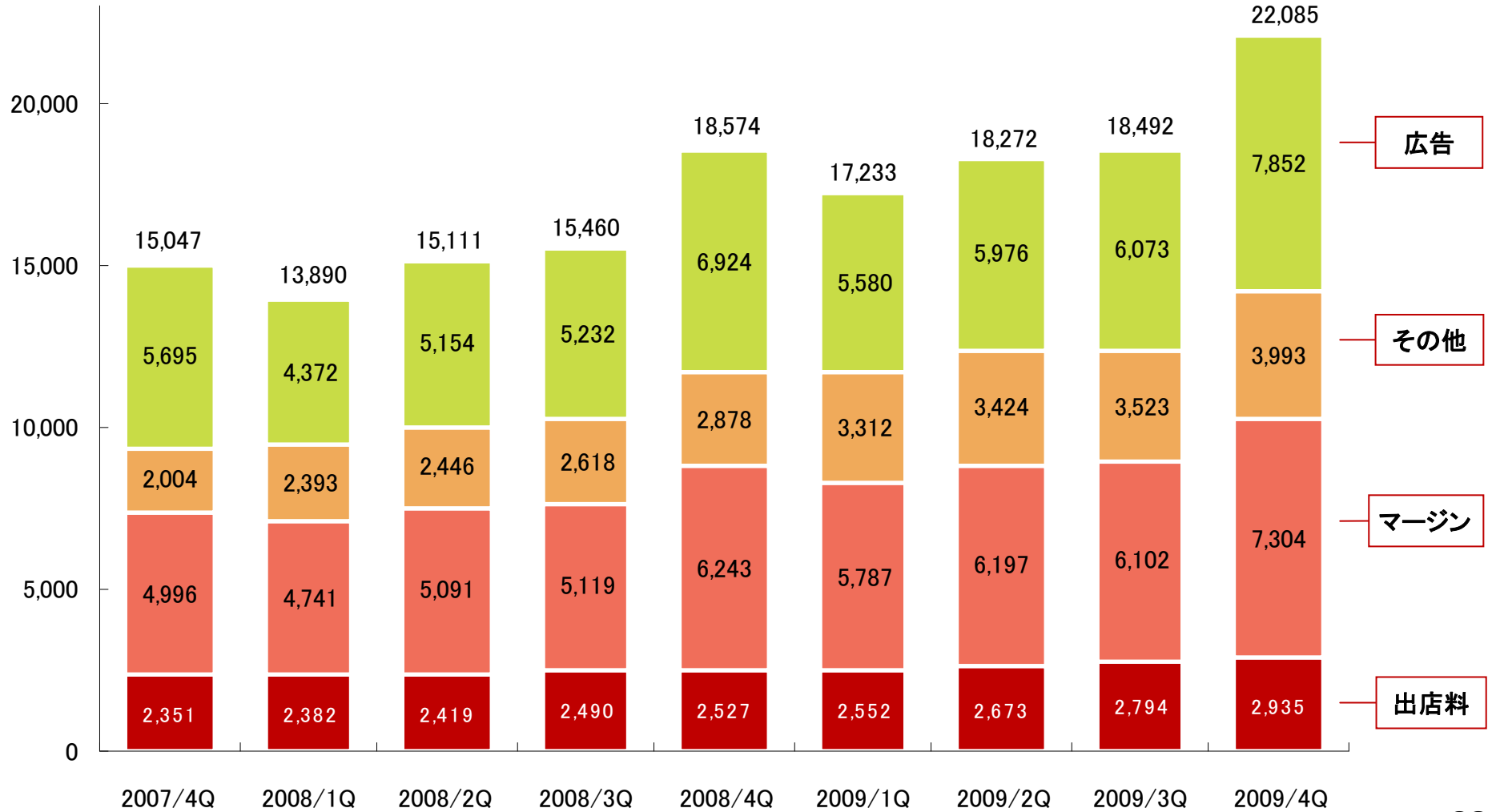
	07/1Q	07/2Q	07/3Q	07/4Q	08/1Q	08/2Q	08/3Q	08/4Q	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q
新基準 (契約済店舗数)	18,954	20,044	20,846	21,934	22,842	23,901	25,084	26,286	27,085	28,461	30,203	31,831
従来基準 (課金店舗数)	19,539	20,574	21,333	22,396	23,176	24,273	25,410	26,223	27,258	28,969	30,602	31,543

*: 出店数の表示方法: 各四半期の最終月に月額利用料を課金している店舗数をベースとする「課金店舗数」及び「契約済店舗数」。

楽天市場 売上高構成の推移



(単位: 百万円)



- 楽天のサービスでパーソナライズを推進、購買転換率の上昇に寄与
- 独自のクラウド技術 (ROMA) も活用

➤ リターゲティング

最近チェックした商品やお気に入り登録した商品などを「リマインド」



➤ ページパーソナライズ

会員のステータスや属性等に応じてページを「カスタマイズ」



➤ レコメンデーション

過去の購買履歴等からコンテンツを「出しわけ」



2 -2 トラベル事業

■足回りサービス拡充、
高い成長率を維持



- 予約流通総額 +16.6%(前年同期比)
- 業界初の「ケイタイ版ANA楽パック」スタート
- 新たに高速路線バス予約スタート

■スマートフォン対応を
更に充実



- iPhoneアプリを充実、携帯サイト同様、GPSを活用した宿泊施設の検索・予約可能に
- セカイカメラに対応、宿泊施設情報をAR*空間上に掲載

* AR (Augmented Reality):仮想現実

■ソーシャル・メディア・
マーケティングの促進

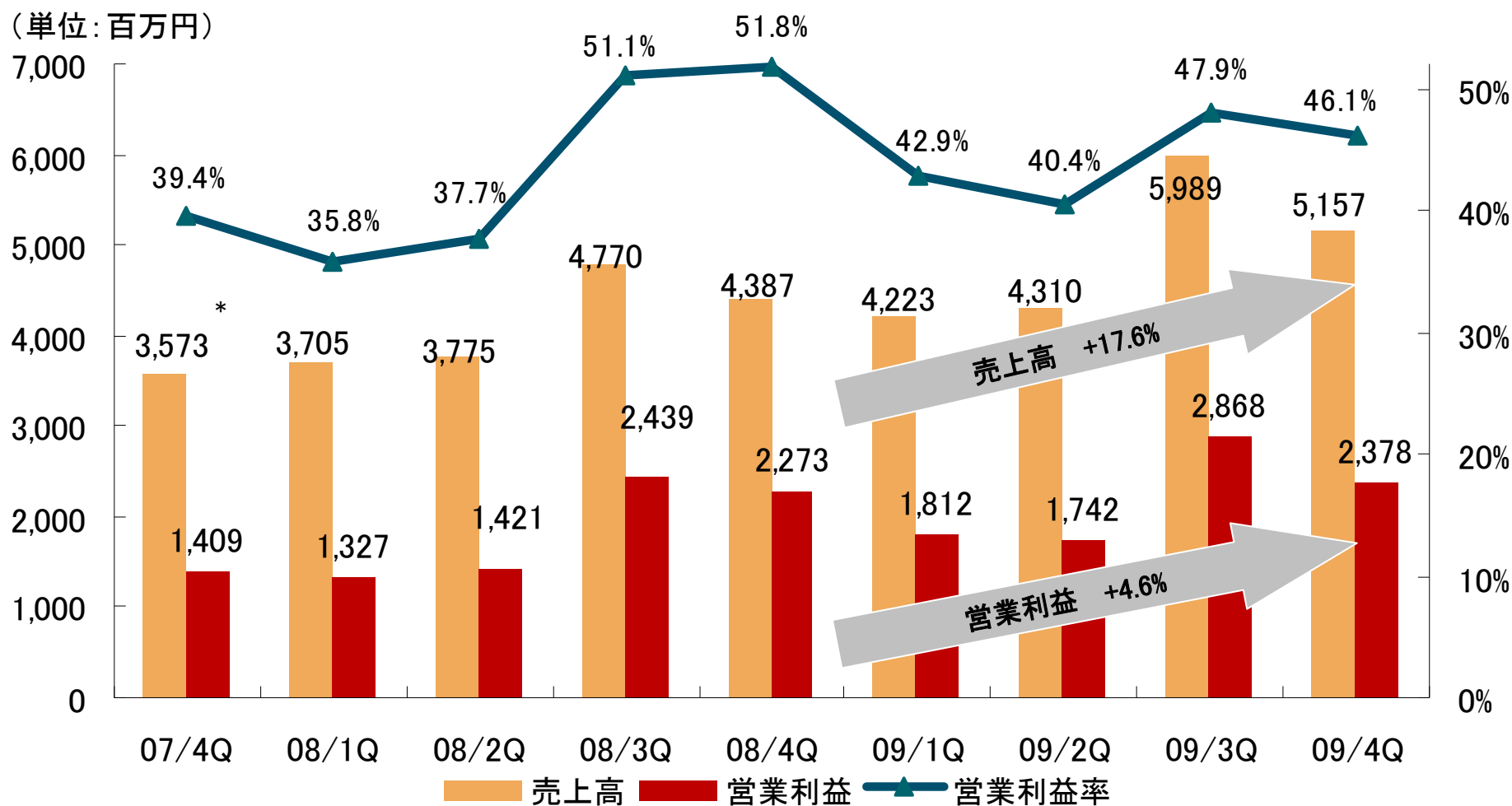


- Twitterによるリアルタイム情報発信、親近感を醸成

トラベル事業セグメント 売上高と営業利益の推移

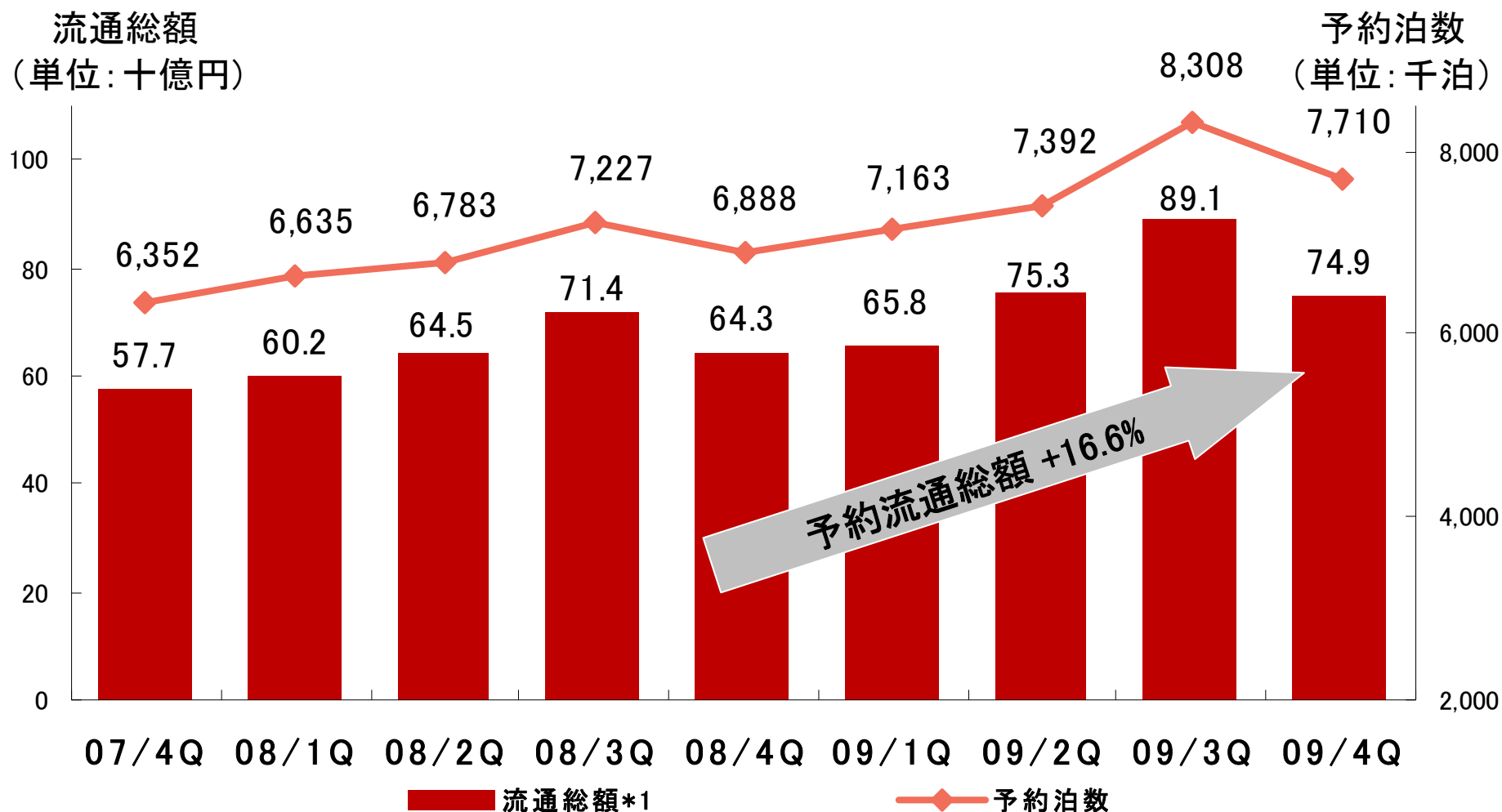
■売上高+17.6%(前年同期比)と成長を維持

■営業利益率は、販促費投入の平準化により、年間を通じて40%台に



*: 店舗広告のグループ内取引の売上高の計上方法を変更する前(従来基準)の売上高

■レジャー需要取り込みが継続、予約流通総額*は+16.6%(前年同期比)



*:トラベル予約流通総額=予約受付時に対する流通総額(キャンセル前、税別料金に換算)

=国内/海外施設予約、海外航空券、楽天バスサービス、国内/海外ダイナミックパッケージ、レンタカー

2 -3 クレジットカード事業

■ショッピング関連収益好調、増収継続



- グループ会員基盤を活用した楽天カード会員獲得が機能し、新規会員獲得数が増加
- 会員数増加と高稼働率維持を両立
- ショッピングリボ残高の成長維持 +62.2%(前年同期比)

■収益力強化への取り組み



- 初期未収債権において引き続き回収強化
- 優良会員獲得のため、楽天カード最上位カード『楽天ブラックカード』発行(2009年10月)
- 広告事業の拡大

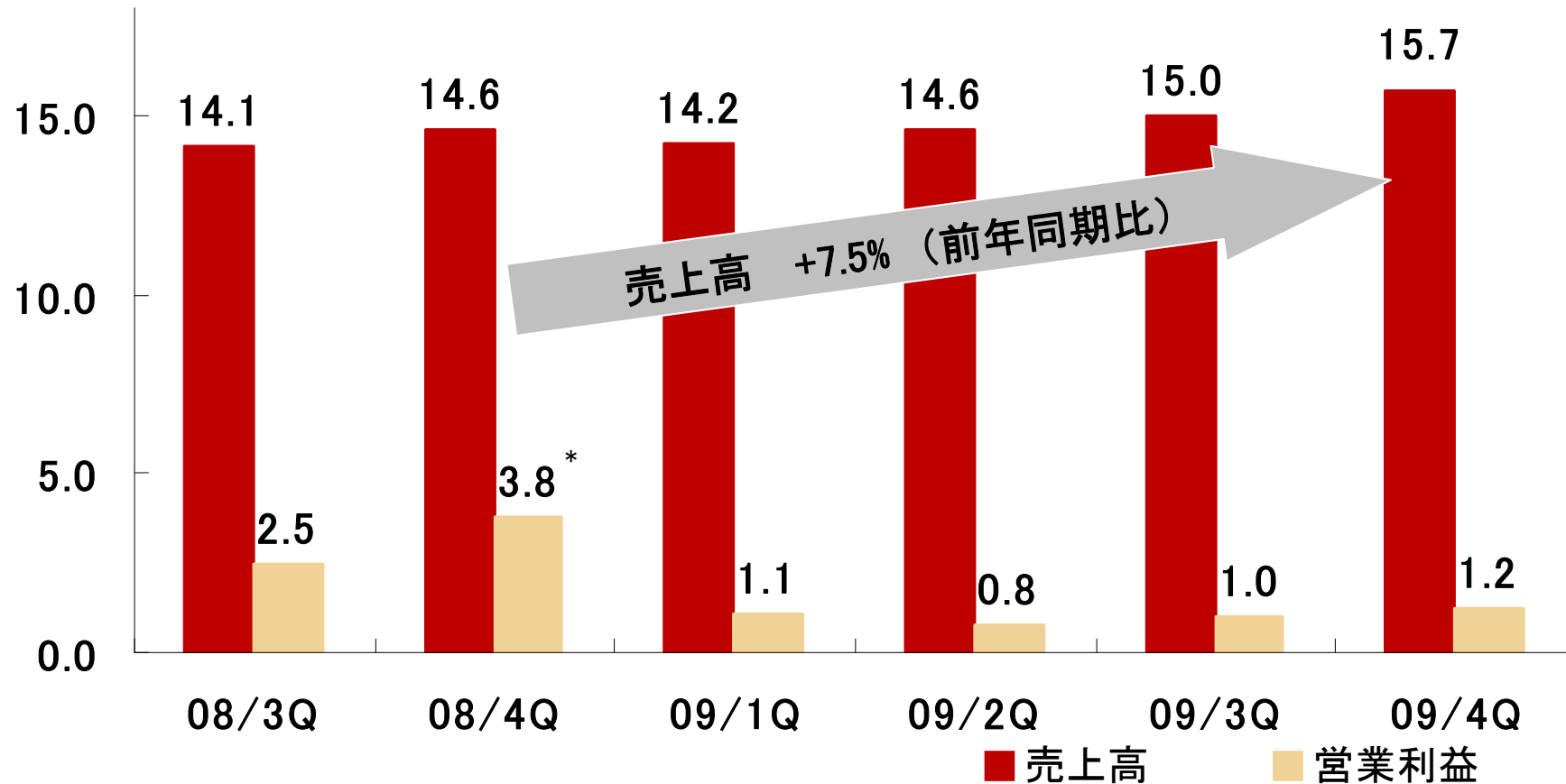
■過払い請求による返還額が減少



- 09年1Qをピークに減少傾向が継続
- 受付ベースの請求額、返還額とも減少中

- 厳しい事業環境下でも売上高は上昇トレンドを示す
- 積極的な新規会員向けマーケティングを行うも安定的な黒字を確保

(単位:十億円)



*:08/4Qの営業利益には債権売却による貸倒費用の減少効果約6億円を含む

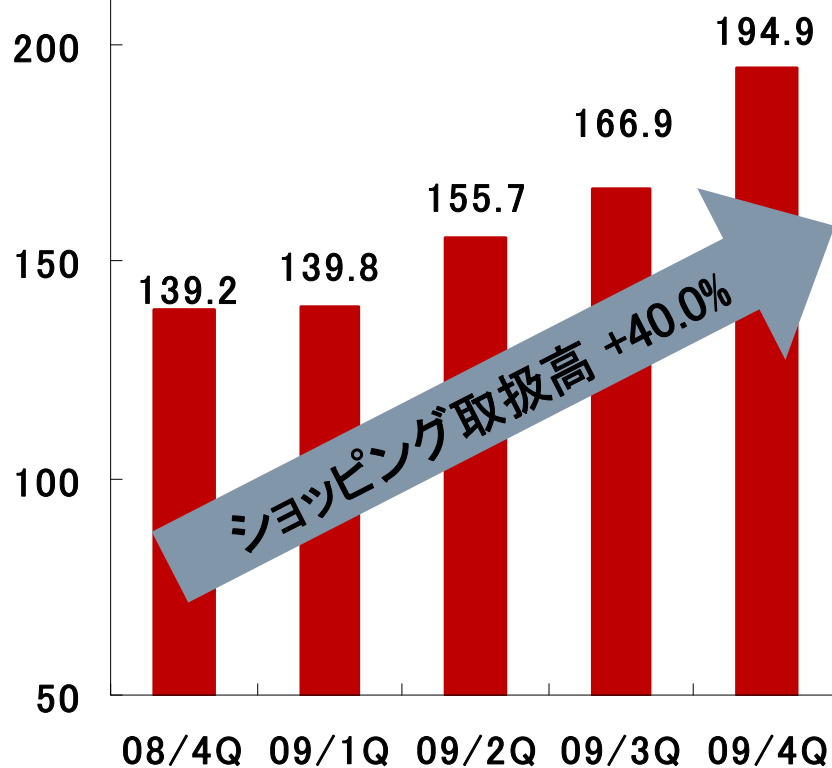
楽天KC クレジットカード・ショッピング取扱高・ リボ残高(元本)の状況



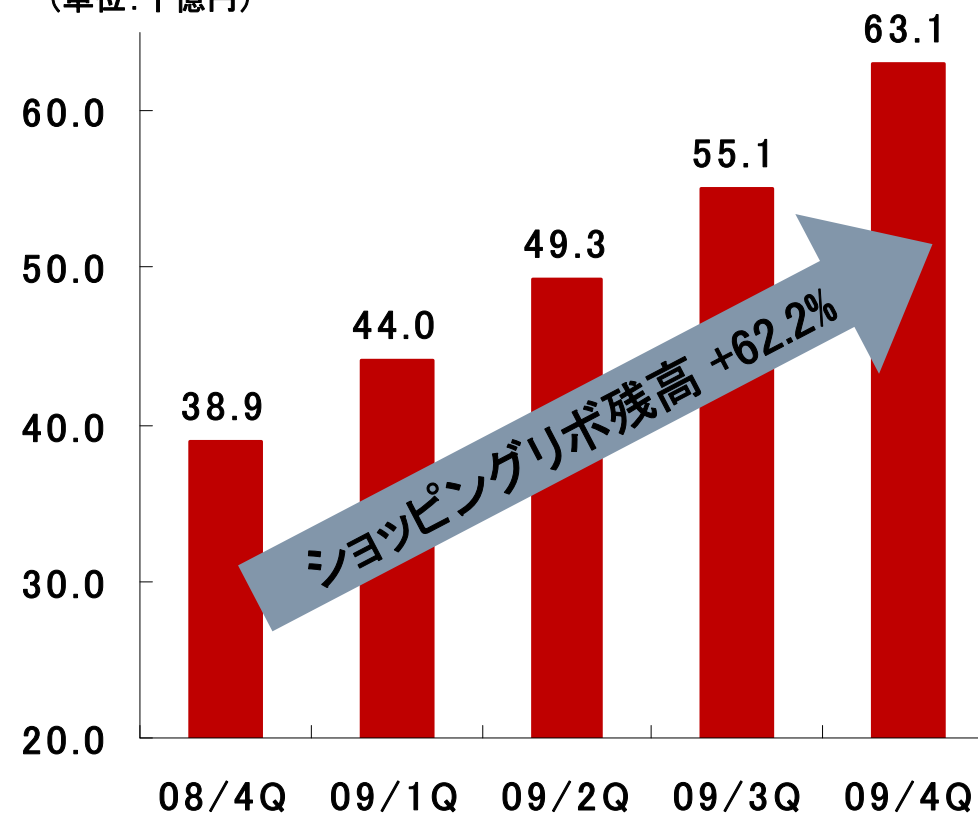
■ ショッピング取扱高は会員数の伸びとEC事業とのシナジーにより
+40.0%と伸長(前年同期比)

■ リボ残高は営業施策が功を奏し
+62.2%と成長を維持(前年同期比)

(単位:十億円)



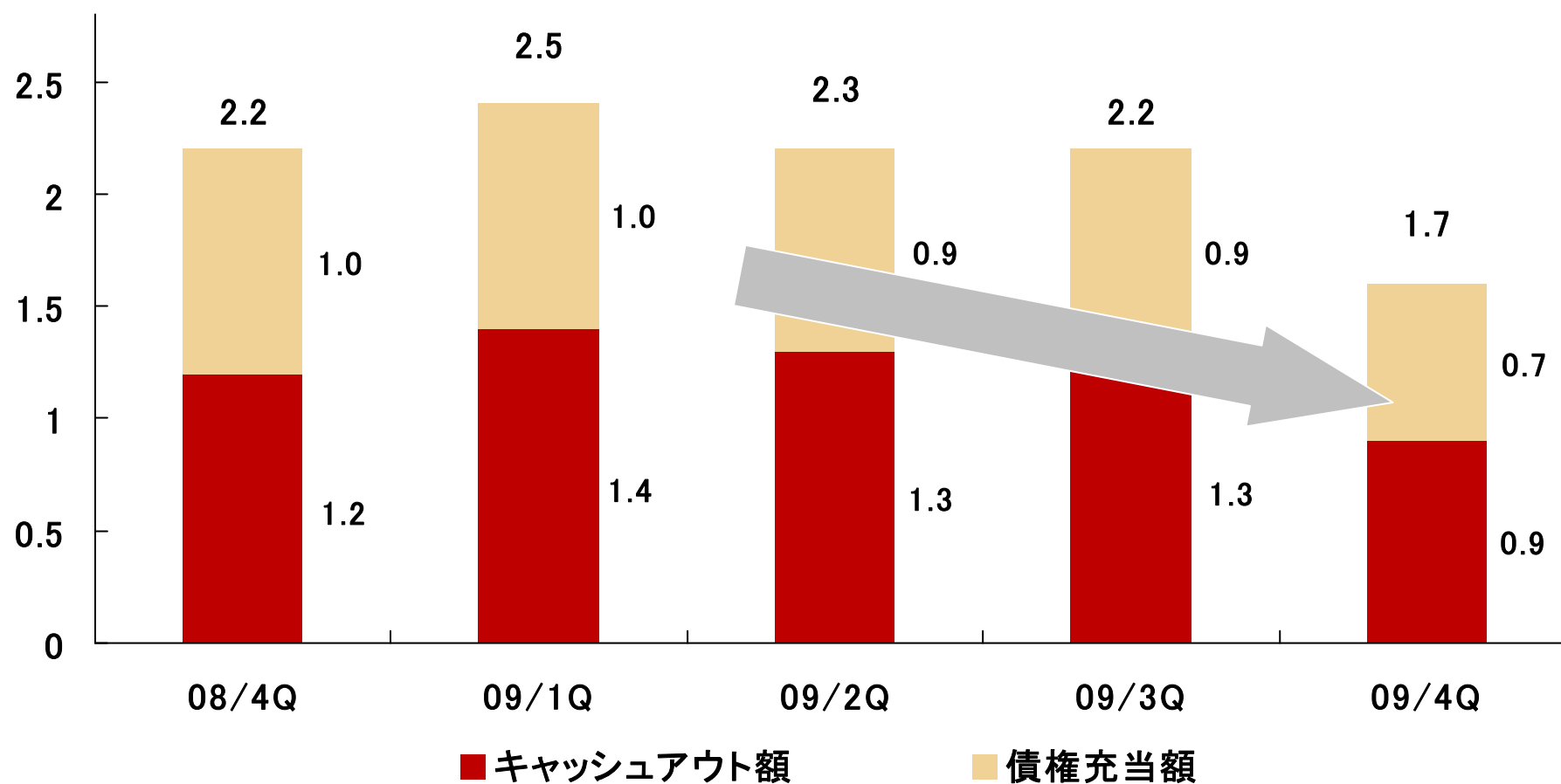
(単位:十億円)



37

■ 過払い返還請求の返還額*が減少、受付ベースの金額でも低下が続く

(単位:十億円)



* : 請求によるキャッシュアウト額及び債権充当(元本免除)額を含む。08/1Q以降、引当金の目的取崩しとして処理し、PL上の費用計上はゼロ

2 -4 銀行事業

■収益体質の抜本的改革を実現



- グループ入りからわずか1年で黒字化を達成
- 楽天流の経営管理体制が早期定着、経営資源の効率運用体制を整備
- 運用・調達の適正なコントロールを実現し、資金利ざやの大幅な改善に成功

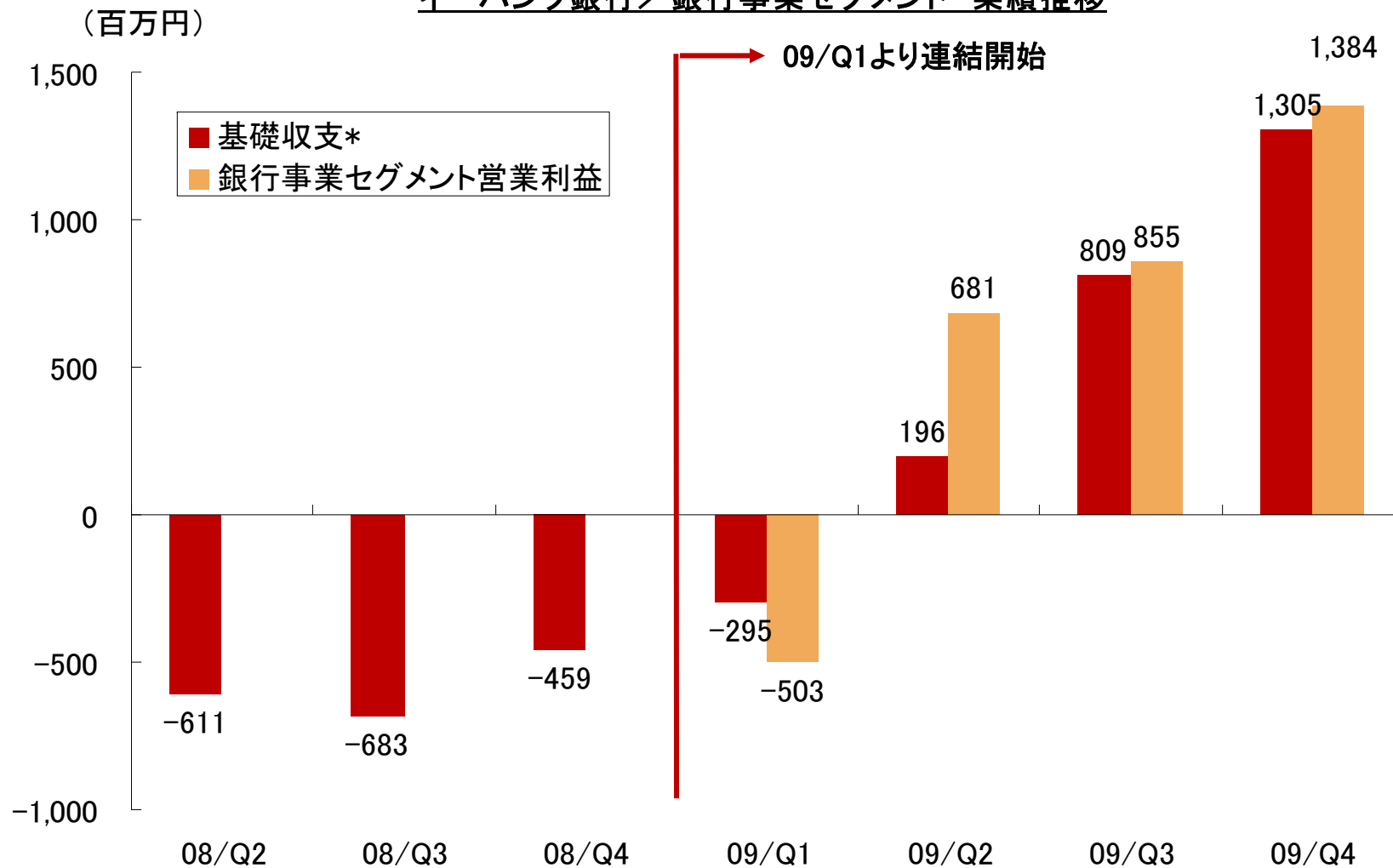
■新たなビジネスモデルへ向けた基盤を構築



- グループ決済連携や楽天会員のID連携により、楽天グループとのシナジーを実現
- ハッピープログラム(3月開始予定)により、ロイヤルティの向上へ
- 商号変更(5月4日予定)により、次のステージへ

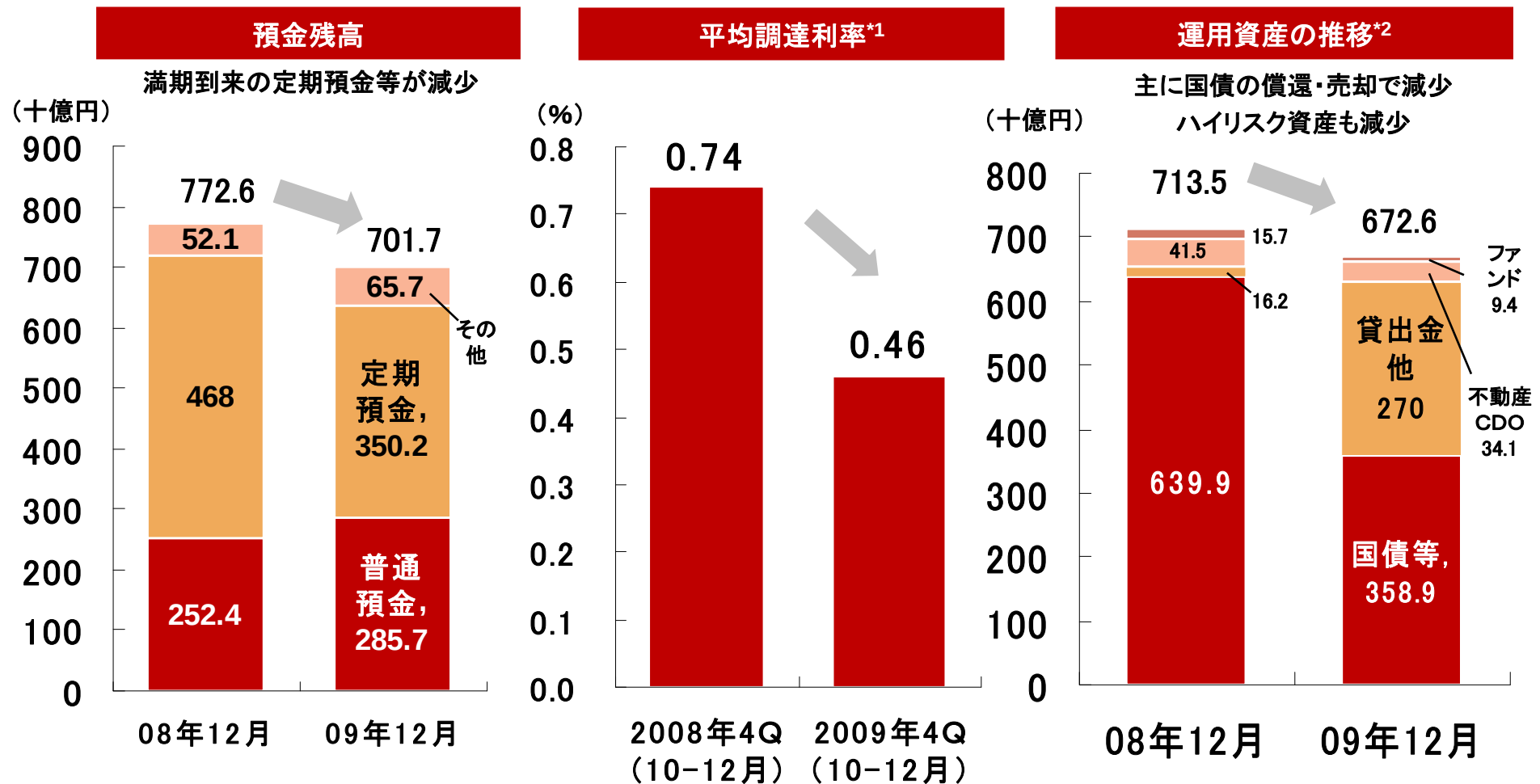
■基礎収支は一段と改善し黒字幅拡大。運用関連収支の改善が大きく貢献

イーバンク銀行／銀行事業セグメント 業績推移



*基礎収支＝投資等による一時的な損益以外の本業での収支。経常損益より投資運用の時価変動・売却等により発生した損益を控除したもの。

- 楽天クレジットのローン事業統合及び運用・調達ポートフォリオの見直しにより、調達コストの適正化とリスク・リターンに配慮した運用の高度化を実現



*1:預金における平均利回り表面金利、月次平残より算出。

*2:運用資産の詳細についてはP.75参照。

- 楽天グループとしての位置付けを明確化
- 楽天グループ各社とのシナジー効果を追求

楽^R天

楽 天 銀 行

2 -5 証券事業

■国内株式以外の商品の更なる成長



- 証券セグメントの営業利益+41.8%(前年同期比)
- FX、投資信託が成長し、収益を下支え

■グループシナジーによる新規口座開設が躍進



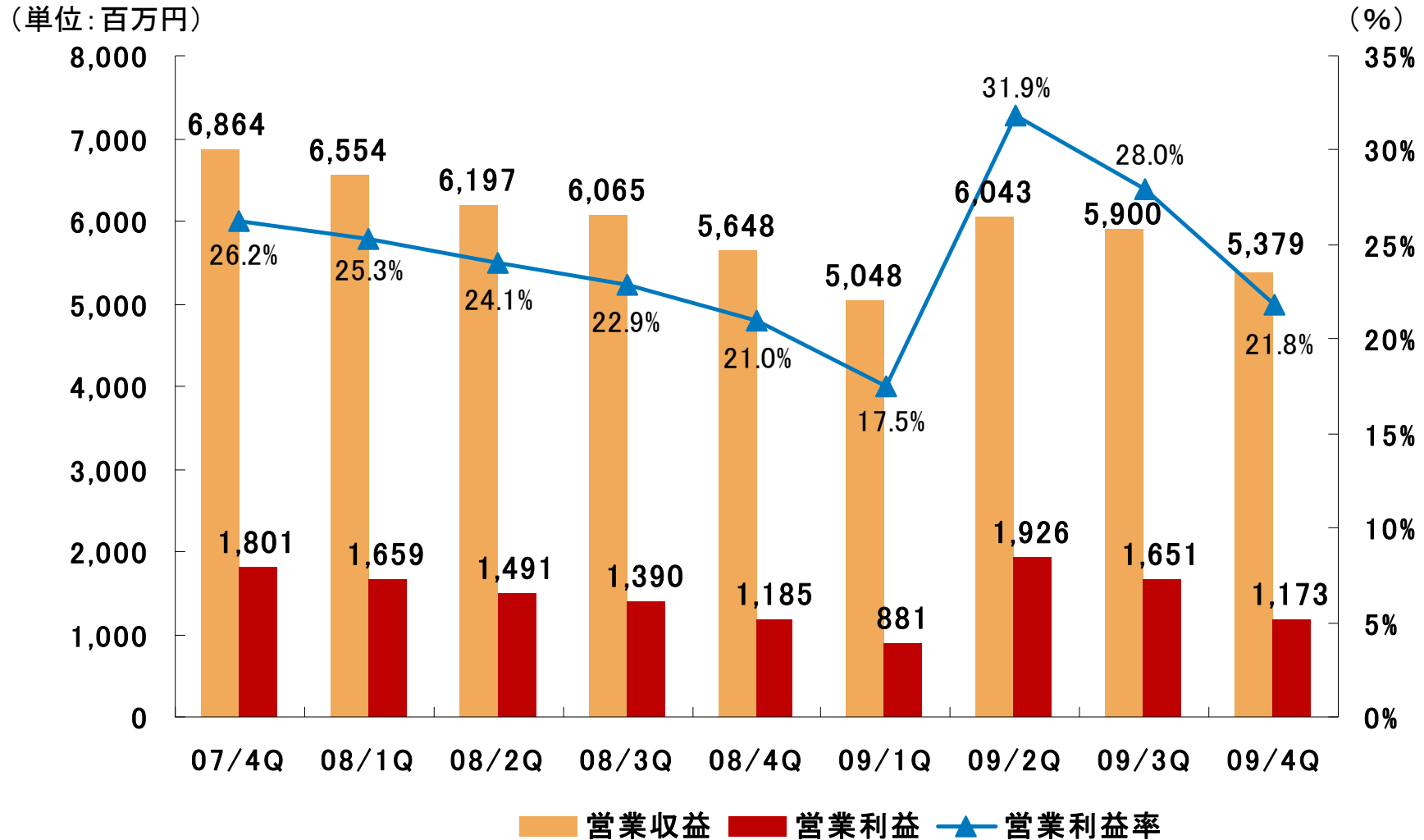
- 楽天グループ経由の新規総合口座開設が牽引し、総合口座伸び率No.1
- 信用取引口座数でネット証券2位に浮上
- 業界首位のSBI証券に口座純増数で接近

■積極的な商品力・サービス強化



- 投資信託取扱銘柄数592本。ネット証券No.1(2010年2月8日現在)
- 業界初の投信ミニ積立サービスが奏功、投信残高650億円突破(2009年12月末時点、前年同期比+135%)
- 楽天CFDサービス開始(4,000口座突破)
- 東証次世代システムフル板完全対応のマーケットスピードVer9.0をリリース

- 営業収益は市況低迷の中、FX、投信が成長し、営業収益(前年同期比 ▲4.8%)、営業利益(同 ▲1.0%)の減少幅を抑制

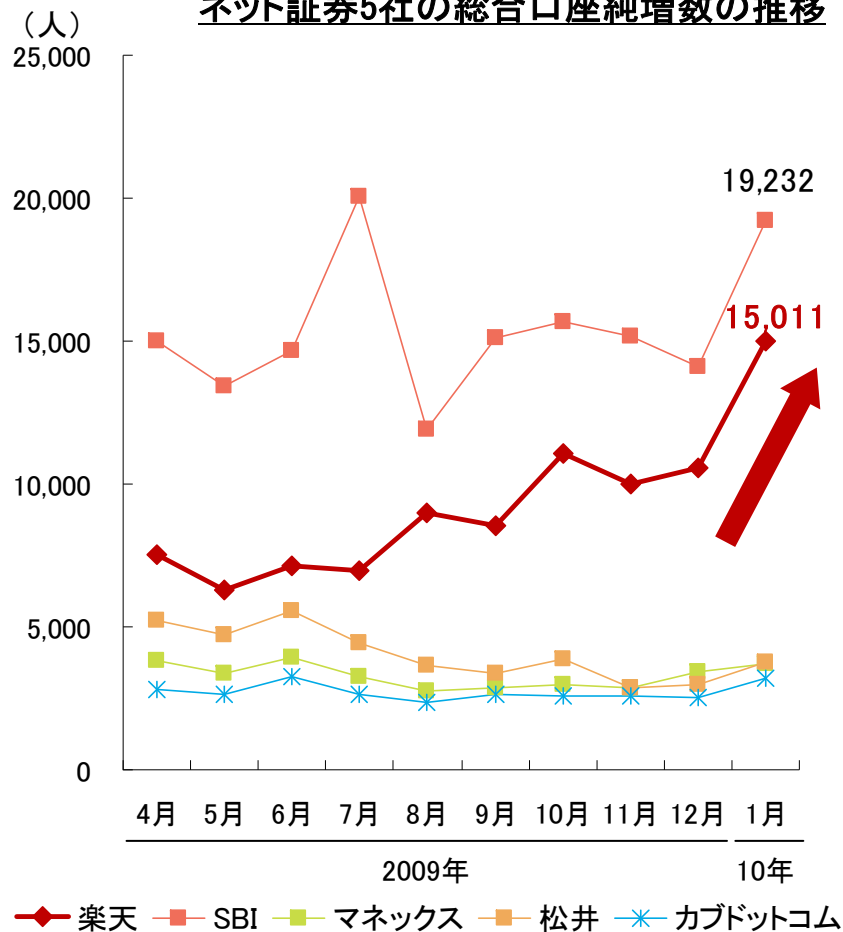


楽天証券 新規口座開設数の推移・楽天グループ経由比率 楽天

■新規口座純増数は今期も順調に増加し、SBI証券に迫る勢い

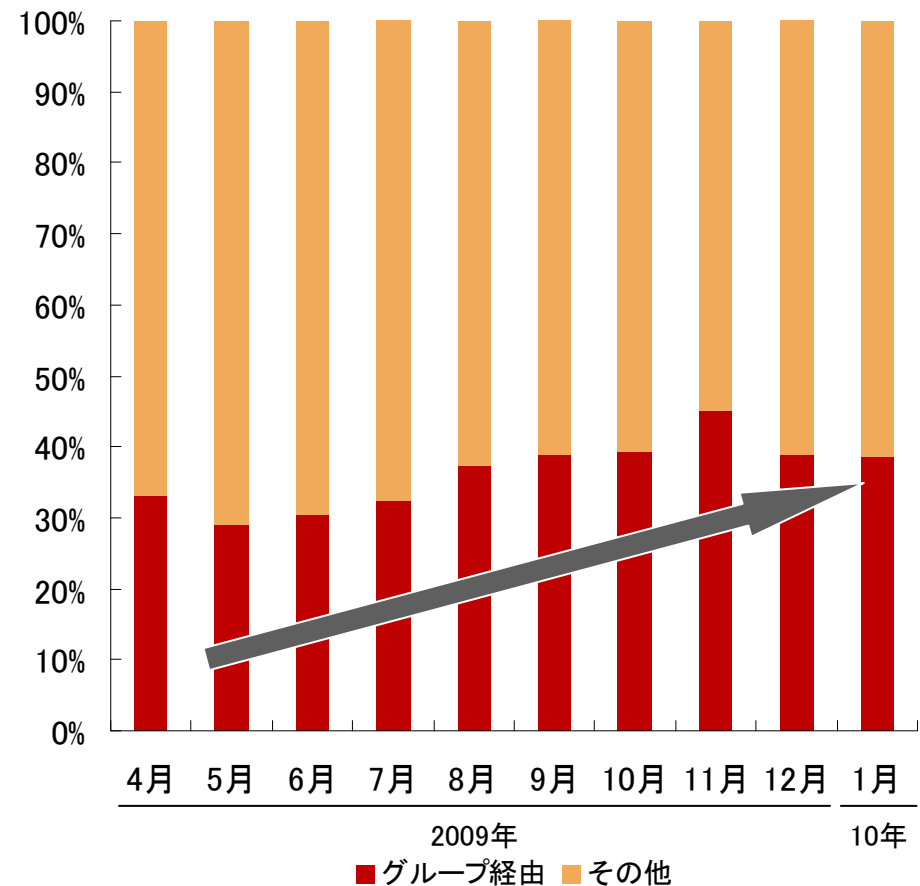
■新規口座におけるグループ経由獲得比率で11月に40%超を達成

ネット証券5社の総合口座純増数の推移



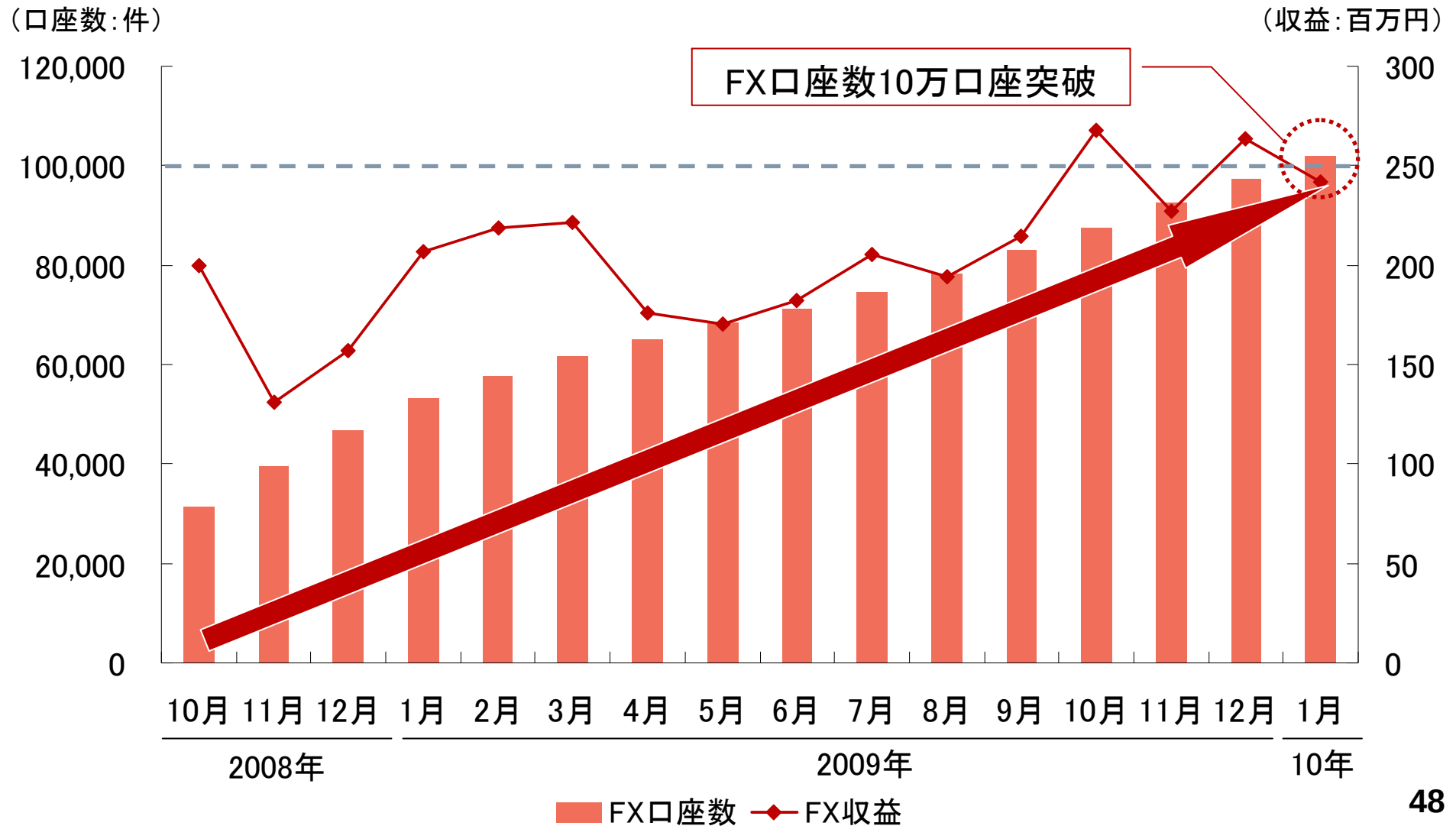
出典:各社公開情報

楽天証券における新規口座の獲得経路構成比の推移



出典:楽天証券におけるデータ分析結果

■楽天FXは口座数・収益ともに継続的に成長



2

-6 プロスポーツ事業

- 球団初クライマックスシリーズ(CS)進出・主催により営業損失は縮小
(前年同期比194百万円の改善)
- 楽天チーム成績好調により動員数は前年を上回る(主催試合計で前年同期比
+4.7%)
- チケット収入は+18.3%(同上)と大幅伸長

(単位:百万円)

プロスポーツ 事業 セグメント 業績	2008年度 通期	2009年度 通期	前年 同期比 (%)	主要売上区分 (2009年度 通期)	金額	前年同期比 (%)
売上高	8,434	8,833	+4.7%	チケット	3,297	+18.3%
営業費用	9,246	9,450	+2.2%	広告スポンサー	2,473	-18.0%
営業損益	-811	-617	—	グッズ・商標権	1,410	+16.8%
				放映権・モバイル	713	+13.9%
				スタジアム	592	+17.7%
				ファンクラブ	246	+9.0%

50



2009年度パシフィック・リーグ
試合結果順位

順位	チーム名
1位	 北海道日本ハムファイターズ
2位	 東北楽天ゴールデンイーグルス
3位	 福岡ソフトバンクホークス
4位	 埼玉西武ライオンズ
5位	 千葉ロッテマリーンズ
6位	 オリックス・バファローズ

CS出場
チーム



クライマックスシリーズ試合風景

2 -7 電話事業

■ 楽天ブランドで
新たな事業ドメイン
を育成



■ 「楽天モバイル for Business」

- 圧倒的な価格メリットで販路も順調に立ち上がり
拡大中

■ 「楽天ブロードバンド」

- 8ヶ月プロバイダー料金無料キャンペーン好調

■ 既存事業の収益性
向上



■ 既存各事業の収益力強化、トップライン向上

- 0038法人顧客獲得は目標を大きく上回る

■ 設備・保守・リース契約見直しによる固定費等
削減の継続で効果が顕在化（前年同期比）

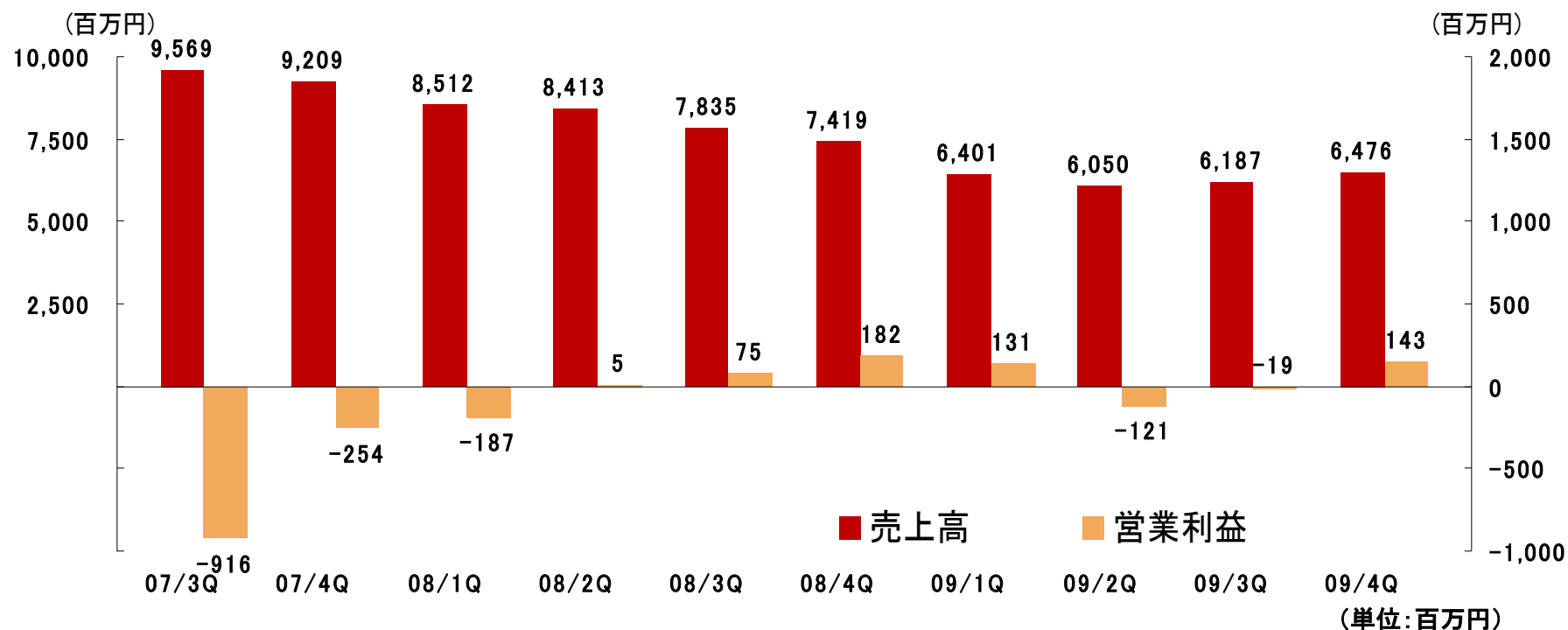
■ 楽天グループとの
シナジー



■ 楽天(株)へIP電話導入

- 楽天グループにIP電話(050)を7,000番号導入
- 通信料削減
- パーソナルナンバー化（異動時も番号不変）

- 既存事業堅調、新規事業も立ち上がり、売上は復調傾向
- 2008-09年度と二期連続通年黒字化達成



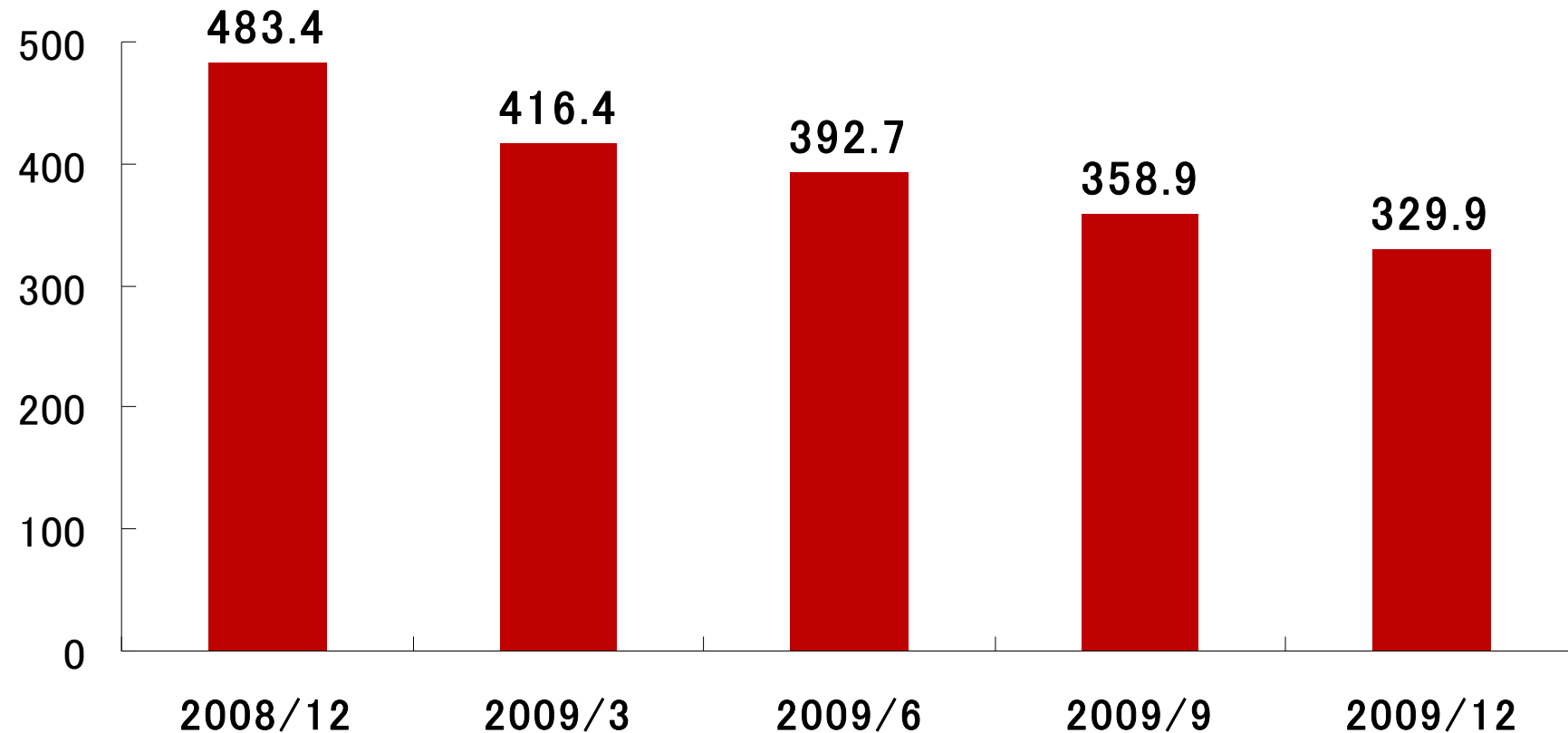
	07/3Q	07/4Q	08/1Q	08/2Q	08/3Q	08/4Q	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q
営業費用	10,485	9,462	8,699	8,408	7,761	7,238	6,270	6,172	6,485	6,333
変動費	5,398	5,160	4,611	4,296	4,046	3,792	3,279	3,656	4,071	4,007
固定費	4,252	3,529	3,354	3,384	3,023	2,767	2,331	1,904	1,691	1,633
販管費	835	774	734	728	692	678	660	612	723	694

3 財務の状況

■ 外部金融機関からの負債は、2009年度で1,535億円減少

(単位:十億円)

外部金融機関の負債の推移

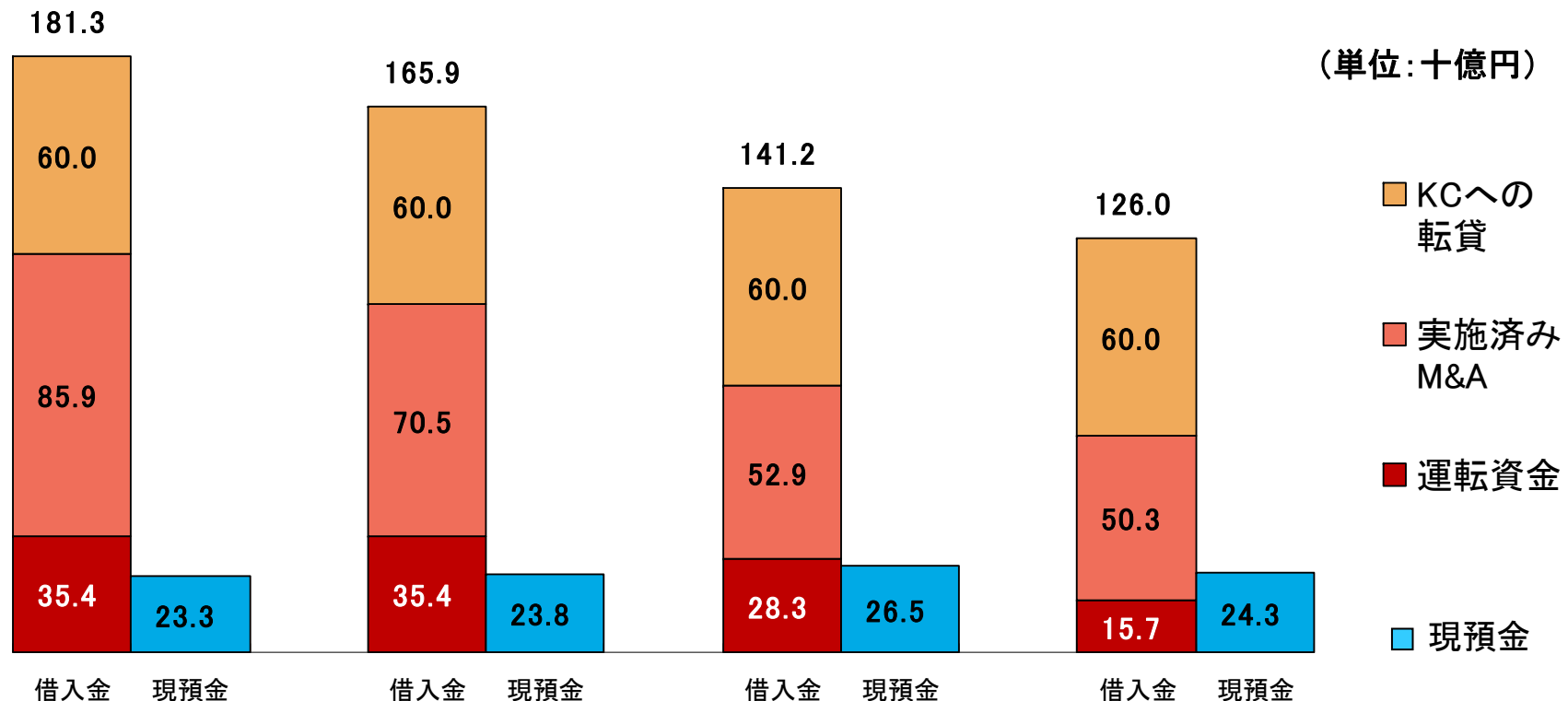


*: 外部金融機関からの負債＝社債＋CP＋短期借入金＋長期借入金

楽天(単体)の借入金及び現預金の推移

■ 借入金の返済が進み、3月末比で553億円減少

楽天(株)の資金使途別の借入金残高及び現預金の推移



09年3月末

09年6月末

09年9月末

09年12月末

参考資料

キャッシュ・フローの概要(2009年1月～12月累計)



開示科目	連結	金融	非金融	その他
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前当期純利益	52.5	11.0	41.4	-
のれん償却額	5.5	2.8	2.6	-
減価償却費	14.3	5.8	8.4	-
銀行業における有価証券評価・売却損益(△は益)	2.3	2.3	-	-
貸倒引当金・利息返還損失引当金の増減額(△は減少)	-12.0	-14.2	2.2	-
その他の損益(△は益)	1.6	-2.4	3.5	0.6
売上債権の増減額(△は増加)	-3.4	-0.3	-3.0	-
割賦売掛金・資産流動化受益債権・営業貸付金・貸出金の増減額(△は増加)	-36.4	-36.4	-	-
仕入債務の増減額(△は減少)	7.1	6.6	0.5	-
銀行業における預金の増減額(△は減少)	-73.0	-73.0	-	-
銀行業におけるコールローンの純増減額(△は増加)	21.0	21.0	-	-
証券業における預り金等の債権・債務の増減額	-29.6	-29.6	-	-
法人税等の支払額	-15.3	-0.2	-15.1	-
その他	10.1	7.3	2.8	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	-55.2	-99.4	43.5	0.6
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
銀行業における有価証券の取得による支出	-526.8	-526.8	-	-
銀行業における有価証券の売却償還による収入	723.6	723.6	-	-
投資有価証券の買取請求に伴う一部弁済による入金額	40.0	-	40.0	-
有形固定資産の取得による支出	-2.8	-0.5	-2.3	-
無形固定資産の取得による支出	-10.0	-4.6	-5.3	-
その他	-6.7	-2.0	-4.3	-0.3
投資活動によるキャッシュ・フロー	217.1	189.4	27.9	-0.3
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増減額(△は減少)	-77.6	-43.7	-33.8	-
コマーシャル・ペーパーの増減額(△は減少)	4.6	4.6	-	-
長期借入による収入	49.6	39.6	10.0	-
長期借入金の返済による支出	-135.2	-119.3	-15.8	-
社債の発行による収入	1.2	-	1.2	-
社債の償還による支出	-6.0	-2.0	-4.0	-
その他	-10.8	-7.4	-3.7	0.3
財務活動によるキャッシュ・フロー	-174.1	-128.3	-46.1	0.3
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0.0	-	-	0.0
V 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	-12.2	-38.3	25.4	0.6
VI 現金及び現金同等物の期首残高	81.2			
VII 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	34.7	-	-	34.7
VIII 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-0.1	-	-	-0.1
IX 現金及び現金同等物の期末残高	103.6			

(単位:十億円)

*金融／非金融の区分は、概算値

楽天グループのバランスシート概要(2009年12月末)



(単位:十億円)

楽天(連結)

現預金 96.2	
	銀行業に おける 預金 698.3
現預金以外 の資産 1,663.0	外部金融機関 からの負債 329.9
	証券業負債 300.8
	その他負債 211.5
	純資産 218.6
総資産 1,759.2	

凡例

現預金	外部金融機関 からの負債
現預金 以外 の資産	その他 の負債
	純資産

楽天(単体)

24.3		126.0
464.6		100.7
		262.3
総資産 489.0		

*楽天証券の借入金の内
150億円はグループ内から

楽天証券

17.7		52.2
369.6		305.9
		29.3
総資産 387.4		

*楽天KCの借入金の内
1,108億円はグループ内から

楽天KC

25.3		262.5
339.7		73.2
		29.3
総資産 365.0		

イーバンク(連結)

24.4		10.0
735.8		701.3
		22.4
		26.4
総資産 760.2		

*:楽天(単体)、楽天証券、楽天KC、イーバンクは連結消去前の数字をベースにしたもので、グループ内取引を含む。

*:外部金融機関からの負債＝社債＋CP＋短期借入金＋長期借入金

楽天(株)単独 BS・PL概況



貸借対照表 (2009年12月31日)

(単位:十億円・億円未満切捨て)

流動資産	92.5	流動負債	136.5
現金及び預金	24.3	買掛金	3.2
売掛金	27.5	短期借入金	31.8
その他の流動資産	41.0	未払金	13.0
貸倒引当金	△ 0.4	未払法人税等	9.7
		前受金	4.5
		ポイント引当金	9.0
		その他の流動負債	65.1
		固定負債	90.1
		負債合計	226.7
固定資産	396.4	株主資本	262.5
有形固定資産	4.2	資本金	107.6
無形固定資産	10.3	資本剰余金	113.1
投資その他の資産	381.8	利益剰余金	41.7
(内 貸倒引当金)	△ 0.8	自己株式	△ 0.0
(内 投資損失引当金)	△ 1.1	評価・換算差額等	△ 0.8
		その他有価証券評価差額金	△ 0.8
		新株予約権	0.6
		純資産合計	262.3
資産合計	489.0	負債純資産合計	489.0

損益計算書 (2009年10月1日～12月31日)

(単位:十億円・億円未満切捨て)

売上高	33.8
売上原価	7.3
売上総利益	26.5
販売費及び一般管理費	14.5
人件費	5.2
広告宣伝費／販売促進費	3.9
減価償却費	1.2
通信費／保守費	1.0
委託費／外注費	1.6
その他	1.4
営業利益	11.9
営業外収益	0.4
営業外費用	0.7
経常利益	11.5
特別利益	0.0
特別損失	0.7
税引前当期純利益	10.8
法人税、住民税及び事業税	5.1
法人税等調整額	△ 0.4
当期純利益	6.1

貸借対照表(2009年12月31日)

(単位:十億円・未満切捨て)

流動資産	324.5	流動負債	188.9
現金・預金	25.3	信用保証買掛金	2.8
割賦売掛金	263.5	短期借入金	127.0
信用保証売掛金	2.8	その他流動負債	59.1
流動化受益債権	41.7		
その他流動資産	20.6	固定負債	146.7
貸倒引当金	-29.6	長期借入金	135.5
		利息返還損失引当金	10.2
		その他固定負債	0.9
固定資産	40.5	負債合計	335.7
有形固定資産	12.2	株主資本	29.2
土地・建物	11.7	資本金	3.0
その他固定資産	0.5	資本剰余金	41.1
無形固定資産	2.8	利益剰余金	0.8
投資その他	27.3	自己株式	-15.7
貸倒引当金	-1.9	評価・換算差額等	0.0
		純資産合計	29.3
資産合計	365.0	負債・資本合計	365.0

連結貸借対照表(2009年12月31日)

(単位:十億円・未満切捨て)

現金預け金	24.4	預金	701.3
コールローン	48.0	普通預金	285.3
買入金銭債権	175.6	定期預金	350.2
金銭の信託	11.2	その他の預金	65.7
有価証券	390.2	社債	10.0
投資損失引当金	-	その他負債	18.5
貸出金	93.8	賞与引当金	0.0
外国為替	0.8	ポイント引当金	0.2
その他資産	20.1	偶発損失引当金	0.3
有形固定資産	0.5	特別法上の引当金	0.0
無形固定資産	5.0	繰延税金負債	3.1
繰延税金資産	0.0	負債合計	733.8
貸倒引当金	-9.8	資本金	23.4
		資本剰余金	-
		利益剰余金	1.2
		自己株式	-4.1
		株主資本合計	20.5
		その他有価証券評価差額金	5.6
		繰延ヘッジ損益	-
		評価・換算差額等合計	5.6
		少数株主持分	0.2
		純資産合計	26.4
資産合計	760.2	負債・純資産合計	760.2

連結損益計算書
(2009年10月1日～12月31日)

(単位:十億円・未満切捨て)

経常収益	8.3
資金運用収益	4.4
(貸出金利息)	2.4
(有価証券利息配当金)	1.1
役務取引等収益	2.9
その他業務収益	0.7
その他経常収益	0.1
経常費用	6.9
資金調達費用	0.9
(預金利息)	0.8
役務取引等費用	2.2
その他業務費用	0.2
営業経費	3.3
その他経常費用	0.1
経常損益	1.3
特別利益	0.1
特別損失	0.5
税前提損益	0.8
法人税	0.0
法人税等調整額	0.0
少数株主持分損益	0.0
当期純損益	0.8

各セグメントと事業との対応表*1

EC事業
楽天市場*2
ビジネスサービス *2
ゴルフ *2
オート *2
デリバリー *2
パッケージメディア*2
メディアレンタル*2
オークション
ダイニング
チケット
パフォーマンスマーケティング (LinkShare, Inc.)
競馬モール*2
物流*2
国際市場統括*2
ネットスーパー
チェックアウト*2

クレジットカード事業*3
KC

銀行事業*3
銀行(イーバンク銀行(株))*3
パーソナルファイナンス (楽天クレジット(株))

ポータル・メディア事業
インフォシーク
広告
ADソリューション
ブログ
リサーチ
みんなの就職*6
マリッジ((株)オーネット)
写真館
コンテンツ*4

トラベル事業
トラベル

証券事業
証券
投資*7
保険

プロスポーツ事業
プロスポーツ

通信事業
電話(フュージョン・コミュニケーションズ)

*1: 一部の新規事業を除く、2009年12月末

*2: 楽天(株)のEC事業

*3: 2009/1Qよりイーバンク銀行の連結開始に伴い、銀行事業を新設し、クレジット・ペイメント事業の一部を銀行事業に組み入れ。再区分後、クレジットカード事業に名称変更

*4: 2009/1Q末より(株)ショウタイムが持分法からフル連結へ

*5: 2009/2Qより証券セグメントから異動、イーバンクに統合

*6: 2009/3Qより組織変更

*7: 2009/3Q末で廃止

のれん償却費の内訳



(単位: 百万円)

	08/1Q	08/2Q	08/3Q	08/4Q	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q	主な対象会社
EC事業	537	538	542	541	542	542	691	599	リンクシェア トラフィックゲート
クレジット・ペイメント事業	246	245	245	245	-	-	-	-	楽天KCグループ
カード事業	-	-	-	-	246	246	246	290	楽天KCグループ
銀行事業	-	-	-	-	175	308	293	273	イーバンク銀行
ポータル・メディア事業	16	17	17	61	44	78	61	61	オーネット、ショウタイム
トラベル事業	11	11	12	12	12	12	12	12	楽天トラベル 楽天バスサービス
証券事業	80	80	84	95	95	95	189	95	楽天証券 楽天証券ホールディングス 楽天リアルティマネジメント 楽天ストラテジックパートナーズ RSエンパワメント(新規)
プロスポーツ事業	-	-	-	-0	-0	-0	-0	-0	-
通信事業	-5	-5	-5	-4	-4	-6	-2	-5	フュージョン・コミュニケーションズ
連結	888	888	897	952	1,111	1,275	1,492	1,327	

*: 連結財務諸表上は販売費および一般管理費に含む

設備投資*の実績



(単位:十億円)

		2007年				2008年				2009年			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
単体	ハードウェア	0.20	0.56	1.68	1.06	0.55	0.14	0.19	0.25	0.14	0.09	0.17	0.17
	ソフトウェア	0.56	1.04	0.79	1.46	1.38	1.16	1.11	0.93	0.63	0.90	0.76	1.25
	合計	0.77	1.60	2.47	2.52	1.94	1.31	1.30	1.19	0.77	1.00	0.94	1.42
連結	ハードウェア	0.63	0.91	2.05	1.26	2.06	0.42	0.42	0.67	0.99	0.59	0.42	0.45
	ソフトウェア	1.98	2.03	4.25	4.47	4.56	2.42	1.96	2.14	2.69	1.61	2.38	2.70
	合計	2.61	2.94	6.30	6.03	6.62	2.84	2.39	2.81	3.68	2.21	2.81	3.15

*:稼働ベース、楽天野球団除くベース

損益計算書 概要

(単位:十億円、未満切捨て)

	08/4Q 前年同四半期	09/3Q 前四半期	09/4Q 当四半期
営業収益	14.6	15.0	15.7
営業費用	10.8	14.0	14.4
販売費及び一般管理費	9.0	12.1	12.7
金融費用	1.7	1.8	1.7
営業利益	3.8	1.0	1.2
営業外損益	0.0	0.0	0.0
経常利益	3.8	1.0	1.2
特別損益	-3.4	-0.1	-0.2
税引前純利益	0.3	0.9	1.0
法人税等調整額	2.0	-0.9	5.0
四半期純損益	-1.7	1.8	-4.0
流動化影響前の経常利益	4.6	1.3	1.3

楽天KC 営業収益・経費



(単位: 百万円)

		08/1Q	08/2Q	08/3Q	08/4Q	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q		
									実績	構成比	前年同四 半期比
営業収益											
総合あっせん		2,795	3,186	3,527	3,988	4,179	4,596	4,996	5,830	37.0%	46.2%
	カードショッピング	2,703	3,108	3,466	3,940	4,138	4,561	4,965	5,803	36.8%	47.3%
	その他	91	78	61	48	41	35	30	27	0.2%	- 43.8%
融資		10,478	9,993	9,498	8,995	8,306	7,720	7,303	6,840	43.4%	- 24.0%
		(9,570)	(8,961)	(8,568)	(8,196)	(7,573)	(7,211)	(7,005)	(6,793)	43.1%	- 17.1%
	カードキャッシング	6,460	6,200	5,730	5,545	5,144	4,773	4,549	4,267	27.1%	- 23.0%
		(5,797)	(5,386)	(5,028)	(4,847)	(4,502)	(4,346)	(4,403)	(4,267)	27.1%	- 12.0%
	ローンカード	3,965	3,744	3,722	3,394	3,121	2,911	2,721	2,542	16.1%	- 25.1%
		(3,719)	(3,525)	(3,493)	(3,293)	(3,031)	(2,829)	(2,569)	(2,496)	15.8%	- 24.2%
	その他融資	52	48	46	55	39	35	32	29	0.2%	- 47.3%
個品あっせん	1	1	1	1	0	0	0	0	0.0%	- 100.0%	
信用保証	348	314	301	292	279	264	255	247	1.5%	- 15.4%	
その他	1,391	1,379	1,736	2,164	2,230	2,553	2,830	2,834	18.0%	31.0%	
金融収益	△ 7	102	12	- 15	8	34	7	17	0.1%	- 213.3%	
営業収益合計		15,006	14,976	15,077	15,426	15,005	15,169	15,394	15,771	100.0%	2.2%
		(14,098)	(13,944)	(14,147)	(14,627)	(14,271)	(14,660)	(15,096)	(15,725)	99.7%	7.5%
営業費用											
人件費	1,299	1,446	1,440	1,457	1,464	1,430	1,477	1,469	10.2%	0.8%	
一般経費	4,954	4,880	5,029	5,848	6,142	6,500	6,628	7,505	51.9%	28.3%	
金融費用	1,719	1,450	1,613	1,720	2,175	1,881	1,883	1,744	12.1%	1.4%	
貸倒関連費用	2,870	3,369	3,526	1,784	3,347	4,007	4,025	3,738	25.8%	109.5%	
利息返還関連費用	0	0	0	0	0	0	0	0	-	-	
営業費用合計	10,843	11,146	11,609	10,811	13,129	13,820	14,015	14,458	100.0%	33.7%	
営業利益	3,254	2,798	2,538	3,816	1,142	840	1,080	1,267	-	- 66.8%	

※()は流動化時価評価損益を含めた営業収益＝会計上数値
 * : 08/4Q: 債権売却に伴う一過性の貸倒関連費用の減少額 約6億円

■取扱高内訳

(単位:百万円)

	08/4Q	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q		
					実績	構成比	前年同四半期比
総合あっせん	139,863	140,415	156,316	167,515	195,541	89.3%	39.8%
カードショッピング	139,280	139,859	155,776	166,940	194,981	89.0%	40.0%
その他	583	555	539	574	559	0.3%	-4.1%
融資	22,231	21,147	20,154	19,558	18,948	8.6%	-14.8%
カードキャッシング	15,434	14,782	14,369	14,057	13,915	6.3%	-9.8%
ローンカード	6,796	6,364	5,785	5,501	5,033	2.3%	-25.9%
個品あっせん	12	11	14	7	5	0.0%	-58.3%
信用保証	2,138	1,189	1,026	1,077	1,029	0.5%	-51.9%
その他	1,397	1,677	2,387	3,265	3,456	1.6%	147.4%
取扱高合計	165,642	164,440	179,900	191,423	218,981	100.0%	32.2%

■カード有効会員数

(単位:万人)

	08/4Q	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q	
					実績	前年同四半期比
クレジットカード	369	385	409	429	448	21.4%
ローンカード	39	38	37	36	35	- 10.3%

(単位: 百万円)

	08/4Q	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q		
					実績	構成比	前年同四半期比
総合あっせん	96,038	97,522	107,929	114,591	135,686	37.1%	41.3%
カードショッピング	93,884	95,755	106,462	113,368	134,639	36.8%	43.4%
カードショッピング流動化	0	0	29,540	69,562	75,786	20.7%	-
(内、オフバランス流動化債権)	(0)	(0)	(100)	(38,100)	(42,626)	11.7%	-
(内、オンバランス流動化債権)	(0)	(0)	(29,440)	(31,462)	(33,159)	9.1%	-
カードショッピングリボ(元本)	38,981	44,067	49,331	55,114	63,168	17.3%	62.0%
その他	2,154	1,767	1,467	1,222	1,047	0.3%	- 51.4%
融資	220,676	211,111	204,122	197,810	191,238	52.3%	- 13.3%
カードキャッシング	98,862	95,546	91,395	87,790	83,384	22.8%	- 15.7%
(内、オフバランス流動化債権)	(78,227)	(48,804)	(26,303)	(0)	(0)	0.0%	-
ローンカード	80,359	76,353	72,029	67,823	62,930	17.2%	- 21.7%
(内、オフバランス流動化債権)	(27,859)	(27,912)	(26,651)	(19,515)	(18,244)	5.0%	-
(内、オンバランス流動化債権)	(0)	(26,906)	(25,414)	(26,277)	(25,322)	6.9%	-
その他融資	41,453	39,210	40,697	42,196	44,922	12.3%	8.4%
個品あっせん	1,225	1,193	1,111	1,046	990	0.3%	- 19.2%
信用保証	39,821	38,613	36,945	35,782	34,437	9.4%	- 13.5%
(内、オフバランス)	(36,270)	(35,276)	(33,815)	(32,801)	(31,603)	8.6%	- 12.9%
その他(オフバランス)	7,247	5,895	4,720	3,919	3,102	0.9%	- 57.2%
営業債権残高合計(オフバランス含む)	365,009	354,336	354,830	353,150	365,455	100.0%	0.1%
(貸借対照表表示残高)	215,403	236,447	263,239	258,812	269,877	73.8%	25.3%

流込残高

(単位: 百万円)

	08/4Q			09/4Q			前年同四半期比		
	10月	11月	12月	10月	11月	12月	10月	11月	12月
当月未収*	4,487	3,940	3,704	3,411	3,542	3,177	-1,076	-398	-527
未収1→2	2,906	3,193	2,794	2,505	2,473	2,326	-401	-720	-468
未収2→3	2,431	2,615	2,886	1,953	2,199	2,132	-478	-416	-754
未収3→4	2,339	2,064	2,186	1,996	1,790	1,907	-343	-274	-279

*: 当月未収・・・請求時に口座から引落としができなかった契約の残高。そのまま一ヶ月経過すれば未収1となる。

楽天KC 債務者区分別債権及び貸倒関連費用



(単位: 百万円)

	08/12*	09/3	09/6	09/9	09/12
破綻先	15	16	16	16	16
実質破綻先	35,336	35,568	34,922	33,688	32,868
破綻懸念先	8,820	8,362	8,329	8,588	6,729
要注意先	5,464	6,116	6,391	5,452	4,582
正常先	273,318	266,613	268,856	269,578	286,038
小計	322,953	316,675	318,514	317,322	330,233
有担保	5,948	5,789	5,627	5,623	5,508
合計	328,901	322,464	324,141	322,945	335,741

貸倒引当率	11.07%	10.85%	10.48%	10.11%	9.40%
債権充当含まず	6.79%	6.82%	6.77%	6.68%	6.34%

貸倒償却額(利息返還を除く)	4,964	4,770	5,024	5,338	4,819
貸倒引当	-2,116	-357	-70	-438	-306
貸倒引当金 残高	36,403	34,980	33,964	32,638	31,561
債権充当含まず	22,335	22,002	21,952	21,561	21,284

貸倒関連費用	1,784	3,347	4,007	4,025	3,738
--------	-------	-------	-------	-------	-------

貸倒償却率	1.51%	1.48%	1.55%	1.65%	1.44%
-------	-------	-------	-------	-------	-------

* : 08年12月末: 債権売却に伴う引当金減少額 約6億円(08年9月末比)

■ 利息返還額及び債権充当額は減少傾向

(単位:十億円)

		08/4Q	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q
利息返還引当金	過払い返還請求に伴う「キャッシュアウト分」	15.3	13.8	12.5	11.1	10.2
	過払い返還請求に伴う「債権充当分」	14.0	12.9	12.0	11.0	10.2
	上記以外の貸倒引当金	22.3	22.0	21.9	21.6	21.2
貸倒引当金 計		36.4	34.9	33.9	32.6	31.5
利息返還引当金+貸倒引当金		51.7	48.7	46.4	43.7	41.8

過払い関連
引当金
205億円

3.0年分*1

過払い返還請求に伴う返還額等*2

(単位:十億円)

	08/4Q	09/1Q	09/2Q	09/3Q	09/4Q
キャッシュアウト額	1.2	1.4	1.3	1.3	0.9
債権充当額	1.0	1.0	0.9	0.9	0.7
利息返還実績 計	2.2	2.5	2.3	2.2	1.7

*1: 過払い関連の引当金÷(直近四半期の過払い返還請求に伴うキャッシュアウト額及び債権充当額×4)

*2: 08/1Q以降、引当金の目的取崩しとして処理し、費用計上はゼロ

09/Q1より連結開始

(単位:百万円)

	08/Q3	08/Q4	09/Q1	09/Q2	09/Q3	09/Q4
決済事業	1,241	1,248	1,523	1,222	1,229	1,217
カード事業	-121	-72	56	21	282	405
金融商品事業	485	587	455	484	470	480
その他	4	28	16	-8	23	47
①手数料関連収支	1,609	1,793	2,051	1,720	2,005	2,150
②運用関連収支	731	732	673	966	1,302	1,510
③営業経費	3,024	2,985	3,020	2,766	2,835	2,808
基礎収支* ¹ (ローン事業を除く)	-683	-459	-295	-79	472	853
ローン事業基礎収支	—	—	—	275	336	452
基礎収支合計 (A)	-683	-459	-295	196	809	1,305
非基礎収支* ² (B)	-19,810	-12,509	1,432	-164	-1,380	59
経常利益 (A+B)	-20,493	-12,969	1,136	31	-571	1,365
連結調整差額	—	—	-2,009 ^{*4}	487 ^{*5}	1,280 ^{*6}	-124 ^{*7}
楽天連結ベースでのイーバンク銀行営業利益* ³	—	—	-872	519	709	1,241

*1:基礎収支＝投資等による一時的な損益以外の本業での収支。経常損益より投資運用の時価変動・売却等により発生した損益を控除したもの。

*2:非基礎収支＝投資運用の時価変動・売却等により発生した損益等による収支。

*3:楽天グループにおけるイーバンク銀行グループの業績への影響。銀行事業セグメントの営業利益から、楽天クレジット(株)の営業利益を控除した額。

*4:09/Q1の連結調整差額の内訳＝一過性の調整-9.3億円、のれん償却-1.7億円、経常費用から特別損失への振替3.8億円、有価証券取得簿価差異による連結調整-12.8億円

*5:09/Q2の連結調整差額の内訳＝のれん償却-3.0億円、有価証券取得簿価差異による連結調整3.7億円、内部取引等その他連結調整4.2億円

*6:09/Q3の連結調整差額の内訳＝のれん償却-2.9億円、有価証券取得簿価差異による連結調整9.4億円、内部取引等その他連結調整6.2億円

*7:09/Q4の連結調整差額の内訳＝のれん償却-2.7億円、有価証券取得簿価差異による連結調整0.4億円、内部取引等その他連結調整1.0億円

イーバンク銀行(単体) 運用資産及び預金の状況



(単位:十億円)

	2008/12末 時価残高	2009/12末 時価残高	増減額	引当金	含み損益 (連結基準)	含み損益 (イーバンク基準)
国債・地方債・公社債	639.9	358.9	-281.0	0.0	5.9	9.6
国債	609.1	213.1	-395.9	-	5.2	9.4
その他* ¹	30.8	145.8	114.9	0.0	0.7	0.2
貸出金	1.5	95.1	93.6	3.2	-	-
株式等	2.2	1.4	-0.7	0.3	0.0	0.0
証券化(貸付債権)	12.5	173.5	160.9	0.2	0.2	0.3
ファンド等	15.7	9.4	-6.3	-	0.0	0.0
ヘッジファンド	10.1	5.7	-4.3	-	-0.1	0.0
その他	5.6	3.7	-1.9	-	0.0	0.0
証券化(不動産)	39.4	30.1	-9.2	5.8	-0.5	-1.1
私募ファンド(時価無し)	20.1	13.4	-6.7	5.8	-	-
CMBS(時価有)* ²	19.3	16.7	-2.5	-	-0.5	-1.1
CDO* ³	2.0	3.9	1.8	-	0.0	0.0
合計	713.5	672.6	-40.8	9.7	5.6	8.8

* 1: 国債・地方債・公社債のその他には、政府保証債、地方債、公社公団債等を含む

* 2: 2008年12月末のCMBSの時価を修正(修正前:183億円)

* 3: CDOは2009年4月に既存保有のCDO約20億円を償還し、2009年5月に日本銘柄(格付AA)30億円を新規購入

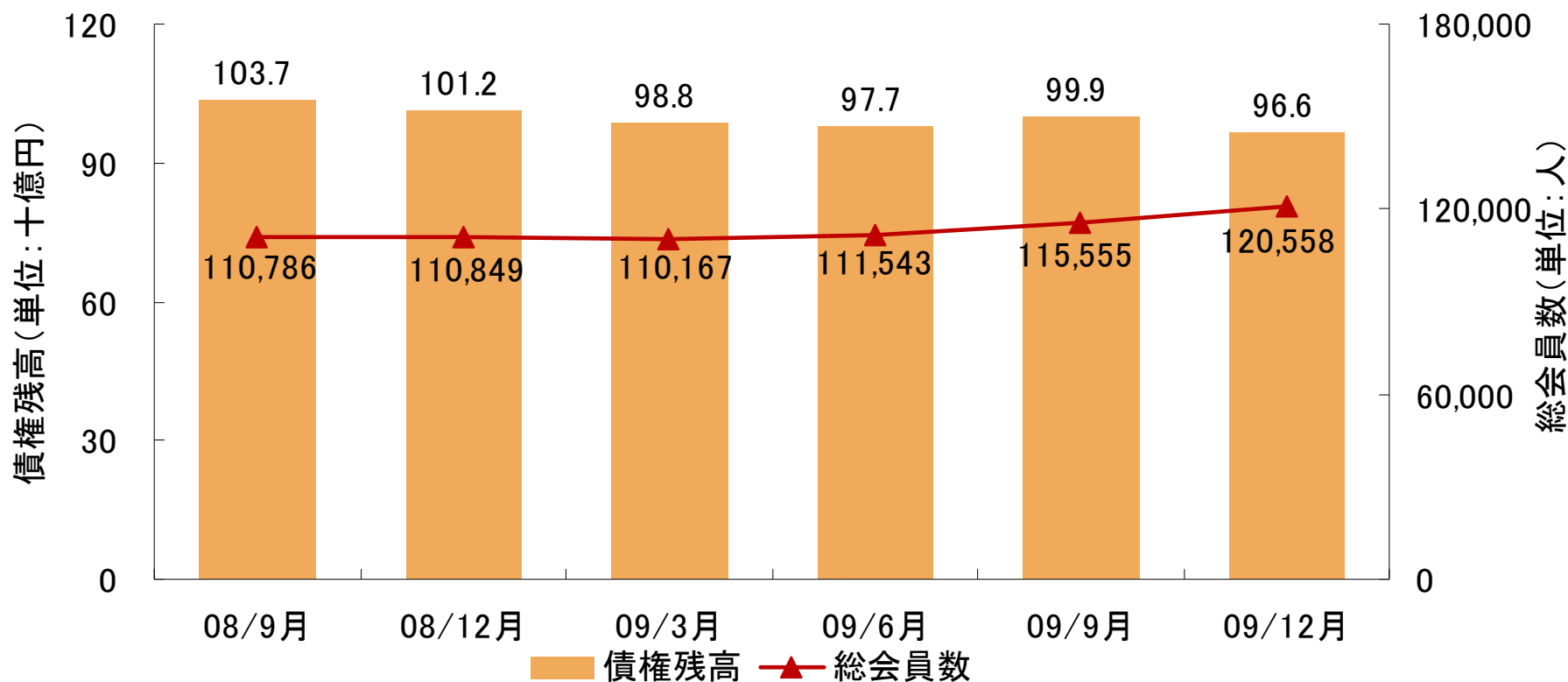
(単位:十億円)

	2008/12末残高	2009/12末残高	増減額
預金残高* ¹ 合計	772.6	701.7	-70.8
普通預金	252.4	285.7	33.3
定期預金	468.0	350.2	-117.7
その他預金* ²	52.1	65.7	13.5

* 1: イーバンク銀行(単体)の預金残高を記載

* 2: その他預金には別段預金の他、外貨預金等を含む

イーバンク銀行 カードローン『マイワン』 債権残高^{*1}の推移 楽^R天

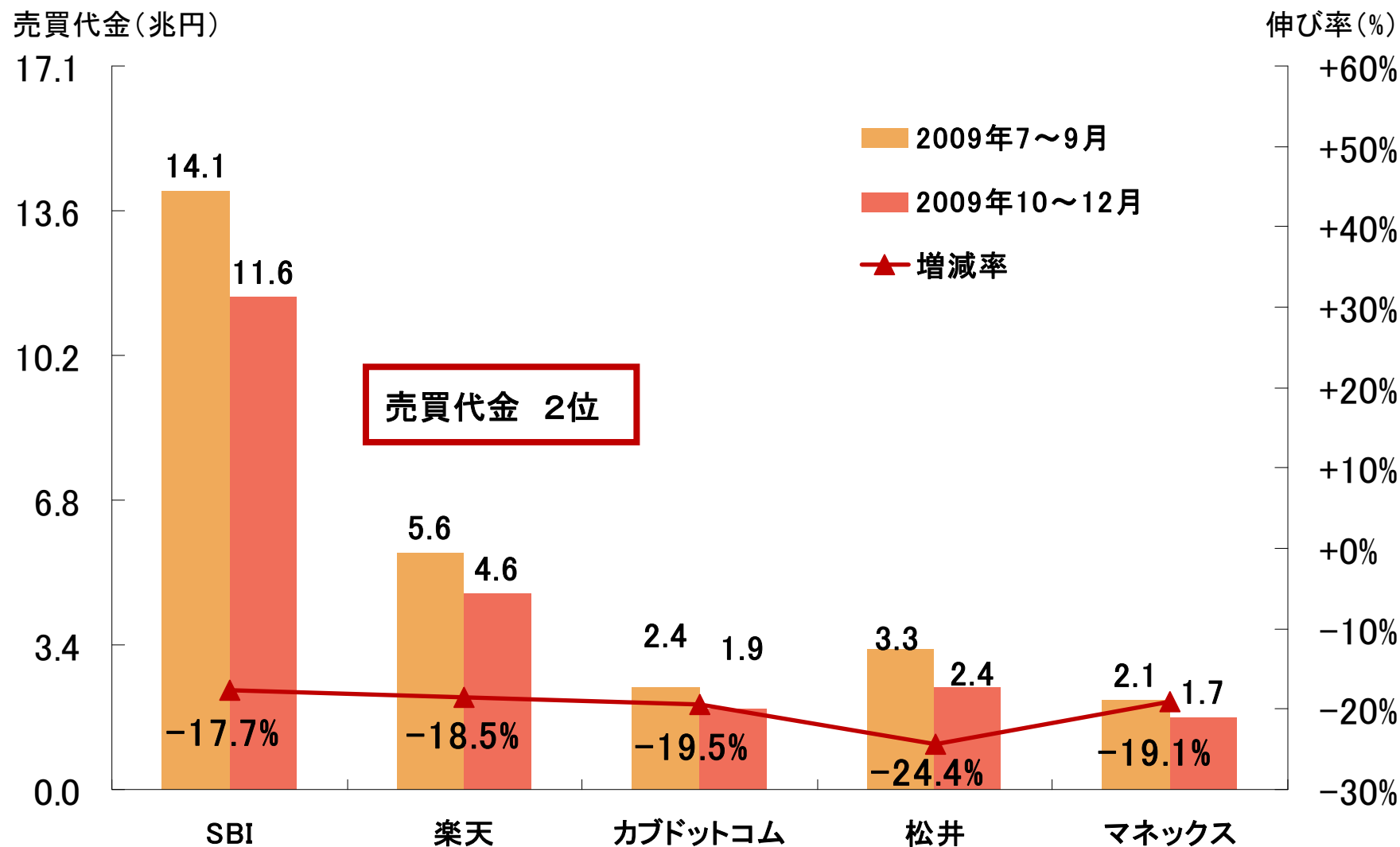


	08/9	08/12	09/3	09/6	09/9	09/12
貸倒引当残高率 ^{*2}	2.59%	2.64%	2.77%	2.85%	2.91%	3.02%

^{*1}: 債権残高及び総会員数ならびに貸倒引当金についてはイーバンク銀行と楽天クレジットとの合計

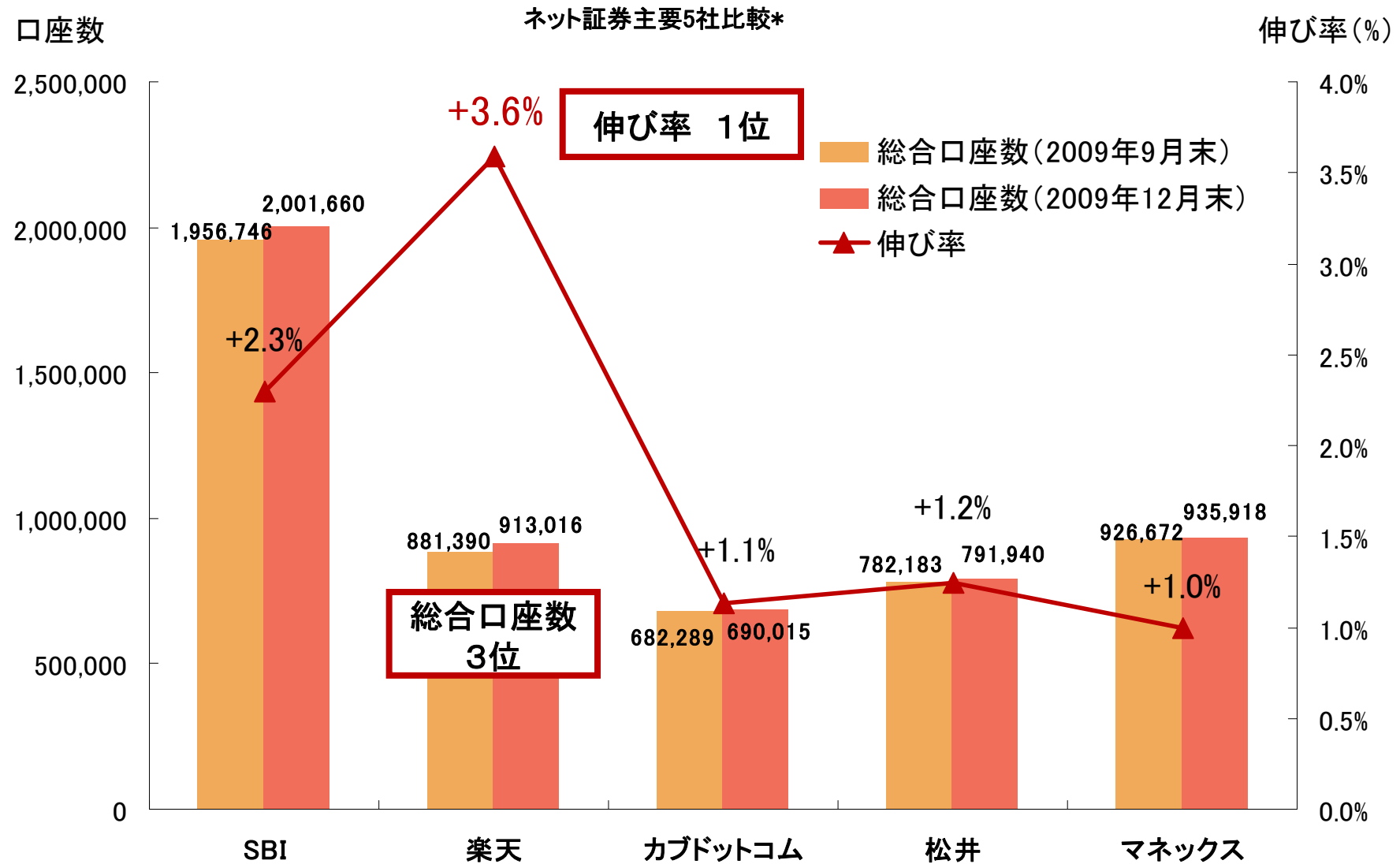
^{*2}: 貸倒引当残高率: 引当残高 / 期末債権残高

ネット証券主要5社比較*



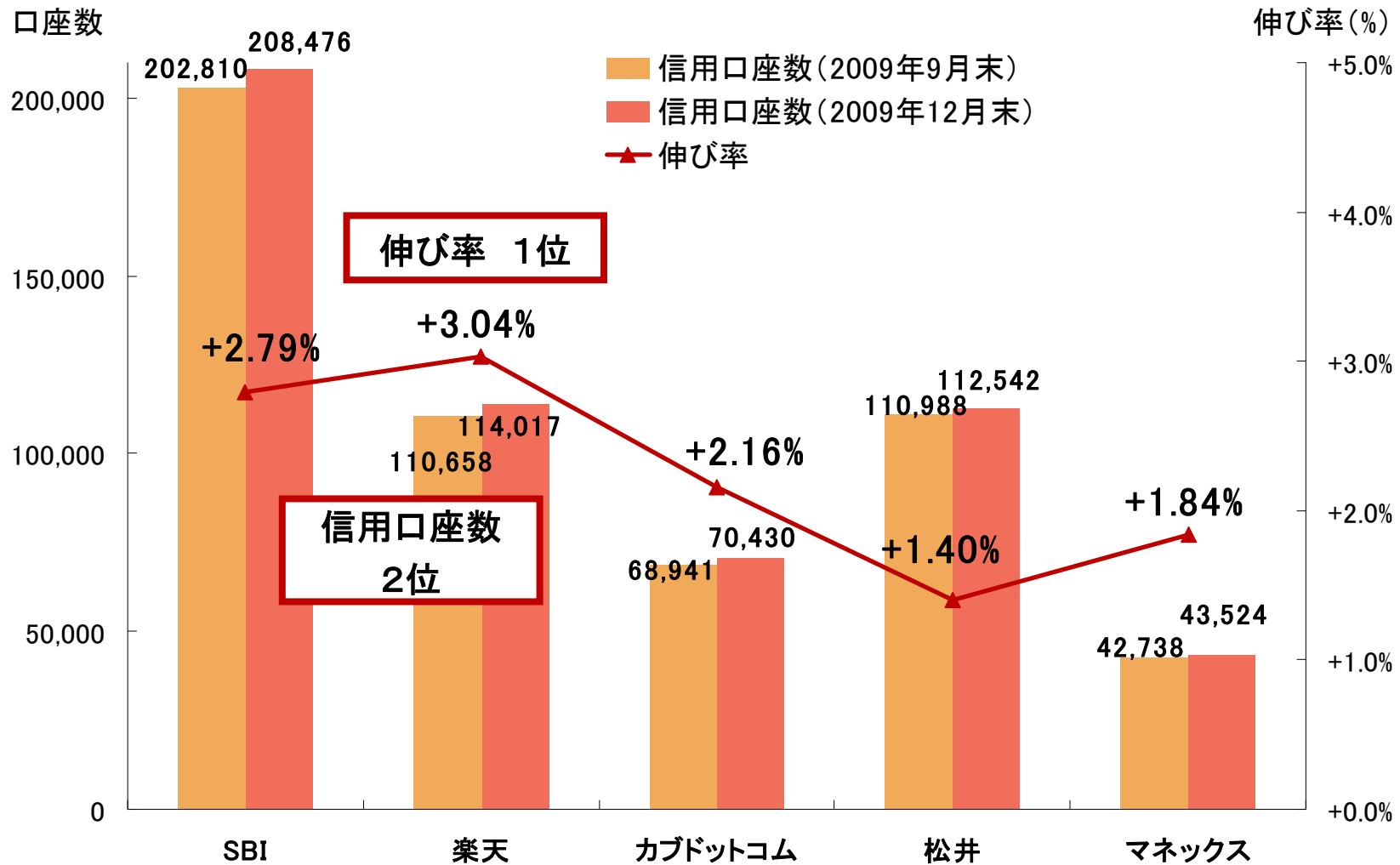
*:各社のホームページ開示資料より、当社にて計算

楽天証券 総合口座数の推移



* : 各社のホームページ開示資料より、当社にて計算

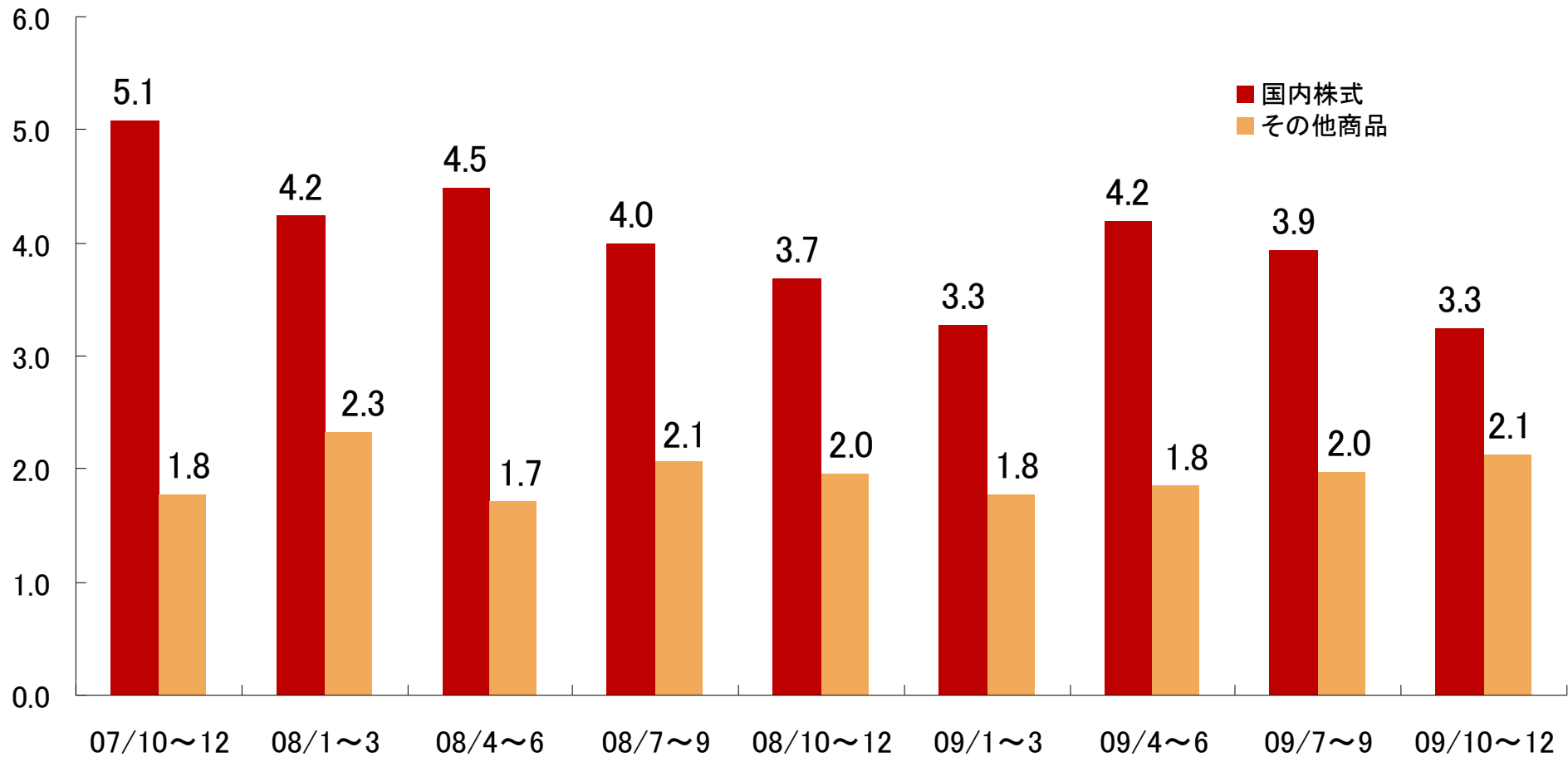
ネット証券主要5社比較*



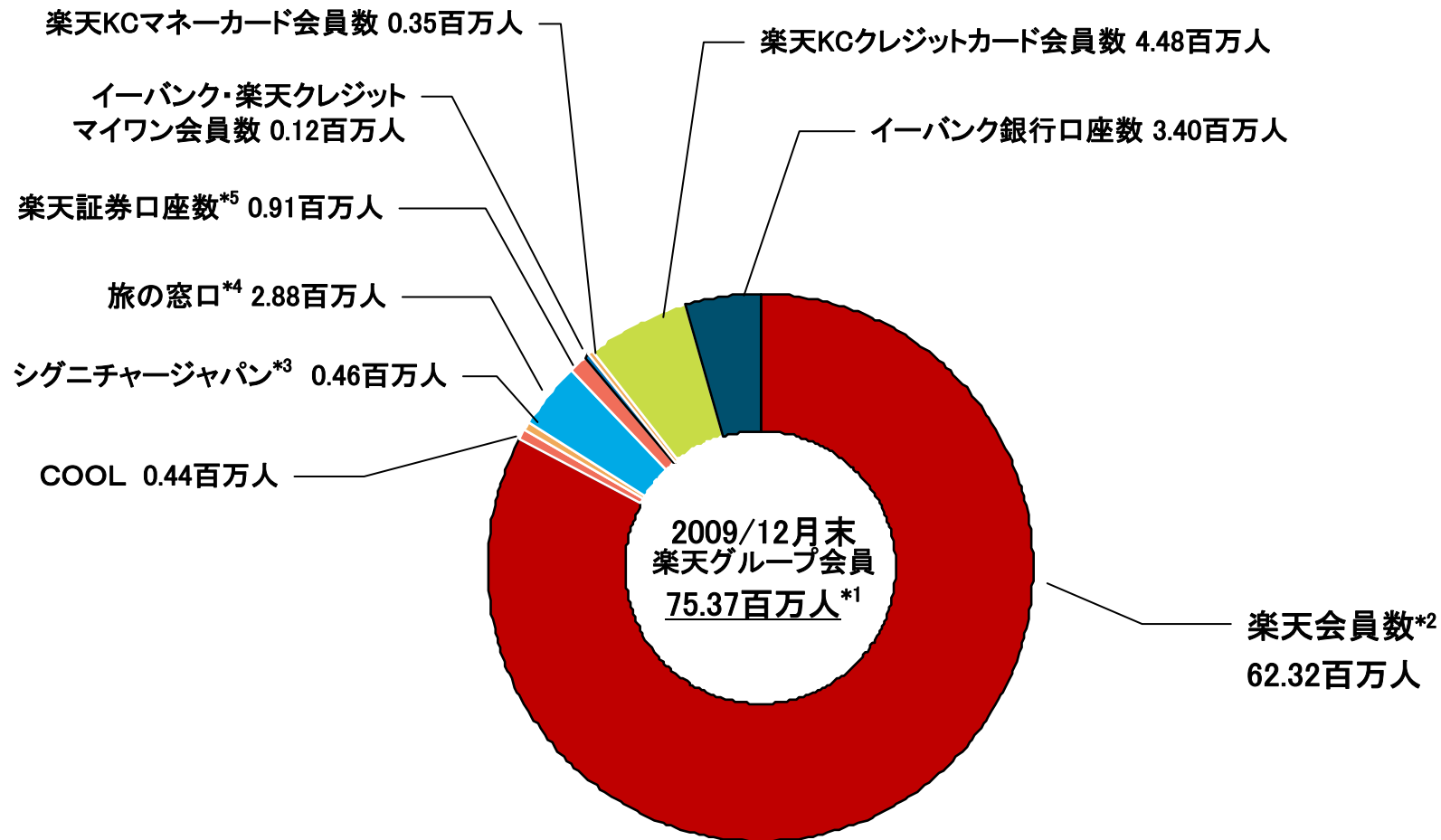
*: 各社のホームページ開示資料より、当社にて計算

■FX・投信の伸張により、国内株式・その他商品の売上比率が6:4にまで上昇

(単位:十億円)



グループ会員数



*1: サービス間の重複は除いていない

*2: 楽天会員のうち、楽天会員入会后、サービス利用の認められない非アクティブ会員を楽天会員より除き有効と認められた会員数は38.04 百万人

*3: 契約カードへの自動付帯含まない

*4: 旅の窓口会員は楽天会員IDに移行した人数除く

*5: 2008年6月末に一部の不稼動口座の閉鎖を実施

樂天